

セッションテーマ

(1:9月17日、2:9月18日、3:9月19日、ABCDEF:会場名)

(口頭発表は時間を、ポスター発表は番号を示す)

- 01 地球外物質の宇宙化学:先太陽系史から初期太陽系史
3D 14:15-16:50, 2P01
- 02 月、火星、太陽系小天体の起源と進化
1E 9:50-12:00
- 03 新しいサンプルリターン時代の分析法・体制とその成果
2A 14:50-17:50, 3A 9:00-12:00
- 04 (欠番)
- 05 マントル物質の化学とダイナミクス
1D 14:50-17:55, 1P01-03
- 06 コア-マントル間の物質相互作用
3D 9:00-11:00, 2P02
- 07 揮発性成分を理解することで地球内部の現象がよりよくわかる
1D 9:25-12:20, 14:20-14:50, 1P04,05
- 08 火山ガス・火山性流体の挙動、火山活動のモニタリング
2C 15:50-17:40, 2P03-06
- 09 島弧・海嶺衝突帯の火成作用とテクトニクス
3A 13:00-17:00, 2P07
- 10 地震発生素過程、断層帯・活断層の化学、地震活動に関連した化学観測
1B 15:05-17:45, 1P06,07
- 11 古気候・古環境解析の地球化学
3F 9:00-11:50, 13:00-16:55, 2P09-13
- 12 堆積物、堆積岩の地球化学
2E 14:50-17:50, 3E 9:00-10:20, 2P14-21
- 13 同位体で見る地球表層環境変動
3E 10:30-12:00, 13:00-16:25, 2P23-28
- 14 陸と海の熱水循環システムの地球化学
1A 15:25-16:10, 1P09-14
- 15 海洋における微量元素・同位体の分布と循環
3D 11:10-11:55, 13:00-14:05, 2P29-31
- 16 大気水圏とそれらの相互作用、気候変動
2F 14:50-17:55, 3B 9:00-10:15, 2P33-36
- 17 地球大気化学:ガス・エアロゾル
3B 10:25-12:00, 13:00-14:00, 2P37-41
- 18 土壌・陸域生態系の物質循環
1F 14:20-17:25, 1P15-23

- 19 水圏環境地球化学
3C 9:00-12:00, 13:00-16:25, 2P42-49
- 20 有機地球化学
1A 16:15-17:50, 2B 14:50-17:15, 1P24-32
- 21 地球外および海底系熱水系有機物と生命の起源
1A 9:40-11:55, 14:20-15:25, 1P33.34
- 22 バイオミネラリゼーションと石灰化 -遺伝子から地球環境まで
2D 16:05-17:40, 2P50
- 23 ナノジオケミストリー: 鉱物表面・界面、地球化学プロセスの基礎科学
1E 14:20-17:40, 1P35
- 24 重元素を用いた安定同位体地球化学
1C 15:35-17:50
- 25 新しい分析技術の開発とその応用
1F 10:20-12:00, 1P36,37
- 26 加速器質量分析が拓く地球環境学・年代学・考古化学
3B 14:10-16:25, 2P51
- 27 都市環境の地球化学と人間 - 自然相互作用
1B 9:30-12:00, 14:20-14:55, 1P38-42
- 28 放射性廃棄物と地球化学
1C 9:55-12:00, 14:20-15:25, 1P43,44, 2P22
- 29 地球化学教育の現状と今後の課題、地球化学者のキャリアパス
1A 18:00-19:30
- 102 固体地球科学
2P08
- 103 生物圏地球化学
1P45-47
- 104 大気水圏地球化学
1P08, 2P32

9月17日 A会場 (13号館 2F1323 講義室)

セッション 21: 地球外および海底系熱水系有機物と生命の起源 (コンピーナー: 小林憲正・三田肇・鈴木勝彦)

09:40-10:00 1A01 (21-01 招待)

The Record of Early Solar System History in the Molecular Structure and Isotopic Abundances of Extraterrestrial Organics (¹カーネギー研・²阪大) George D. Cody¹・Conel M. O'D. Alexander¹・Marilyn Fogel¹・藪田ひかる²

10:00-10:20 1A02 (21-02 招待)

隕石有機物の水質変成: 化学進化に果たす役割 (¹九大・²北大) 奈良岡浩¹・大場康弘²

10:20-10:35 1A03 (21-03)

有機物・微生物の宇宙曝露と宇宙塵・微生物の捕集(たんぼぼ)実験計画の概要 (¹東薬大・²JAXA・³横国大・⁴千葉大) 山岸明彦¹・矢野創²・小林憲正³・横堀伸一¹・河合秀幸⁴・橋本博文²・山下雅道²

10:35-10:50 1A04 (21-04)

“タンボポ”模擬実験における有機物分析 (¹福岡工大・²横国大・³阪大・⁴名大・⁵九大・⁶JAXA・⁷東薬大) 三田肇¹・小林憲正²・藪下さやか²・藤崎健太²・中嶋悟³・癸生川陽子³・鈴木彰子³・福島和彦⁴・齋藤香織⁴・奈良岡浩⁵・奥平恭子⁶・橋本博文⁶・山岸明彦⁷

10:50-11:05 1A05 (21-05)

イソパリン固相薄膜への円偏光照射によるキラリティ発現 (¹NTT・²横国大・³福岡工大・⁴分子研・⁵名大) 高橋淳一¹・上野祐子¹・小川智也²・島壯一郎²・金子竹男²・小林憲正²・三田肇³・阿達正浩⁴・保坂将人⁵・加藤政博⁴

11:05-11:20 1A06 (21-06)

星間で生成した複雑有機物から地球上での生命誕生へのシナリオ (¹横国大・²NTT・³JAMSTEC・⁴福岡工大・⁵放医研・⁶東薬大) 小林憲正¹・谷内俊範¹・栗原広成¹・金子竹男¹・高橋淳一²・高野淑識³・三田肇⁴・吉田聡⁵・山岸明彦⁶

11:20-11:40 1A07 (21-07 招待)

最古の生態系はどのような熱水系で繁栄したか: ウルトラエッチキュープリンケージ仮説 (JAMSTEC) 高井研

11:40-11:55 1A08(21-08)

培養実験による H₂ 代謝時の安定同位体分別の解明 - 熱水系における H₂ 代謝量の定量的見積もりに向けて - (¹東大・²JAMSTEC) 川口慎介¹・高井研²・蒲生俊敬¹

9月17日 B会場 (12号館 2F1225 講義室)

セッション 27: 都市環境の地球化学と人間 - 自然相互作用 (コンピーナー: 益田晴恵・丸茂克美)

09:30-09:45 1B01 (27-01)

Metal Pollution in Sediments of Old Nakagawa River in Tokyo, Japan and Possible Remediation (慶大) H. M. ZAKIR・鹿園直建

09:45-10:00 1B02 (27-02)

多摩川堆積物中の重金属元素の濃度分布および存在形態についての地球化学的研究 (慶大) 立脇香奈・鹿園直建

10:00-10:15 1B03 (27-03)

東京湾における微量重金属の供給源 (静大) 坂田昌弘・高木友治・谷幸則

10:15-10:30 1B04 (27-04)

プロジェクト Y 淀川編 - 水質班の計画と概要 - (¹近大・²大阪市大・³大阪市立自然史博物館) 中口譲¹・益田晴恵²・中条武司³・山崎恵美子¹・宇根山綾香¹・滝川真矢¹・松本郷平¹・中尾匡伸¹・中川裕美¹

10:30-10:45 1B05 (27-05)

大阪府域における地下水汚染の分布及び経年変化について (大阪府環境農林水産総合研究所) 西海暢展・栢原博幸・

中村智・藤村正・服部幸和

10:55-11:10 1B06 (27-06)

大阪市内の浅層部における塩水化地下水の分布 (¹大阪市大・²信大) 益田晴恵¹・牧野和哉¹・岡林岳志¹・三田村宗樹¹・中屋眞司²

11:10-11:30 1B07 (27-07 招待)

都内の土壌、底質のダイオキシン類、PCB の汚染実態について ((財)東京都環境科学研究所) 佐々木裕子

11:30-11:45 1B08 (27-08)

都市表層土壌への重金属(Zn)の濃集と浸透 (¹住鉱コンサルタント(株)・²産総研) 水落幸広¹・小野雅弘¹・田代寿春¹・丸茂克美²

11:45-12:00 1B09 (27-09)

都市域の汚染土壌の鉛同位体組成 (産総研) 丸茂克美

9月17日 C会場 (12号館 2F1222 講義室)

セッション 28: 放射性廃棄物と地球化学 (コンピーナー: 日高洋・吉田英一・山本鋼志)

09:55-10:15 1C01 (28-01 招待)

地層処分システム安全研究における地球化学の役割 (原子力安全研究協会) 枘山修

10:15-10:30 1C02 (28-02)

地層処分における地球化学的アナログプロセス -地下地質環境での Fe-oxyhydroxides の長期的挙動について- (名大) 吉田英一・山本鋼志

10:30-10:45 1C03 (28-03)

ナチュラルアナログとしてのオクロ天然原子炉の同位体研究 (広大) 日高洋

10:45-11:00 1C04 (28-04)

天然原子炉内に存在する金属微粒子中の Zr, Mo, Ru, Pb 同位体特性 (広大) 菊池麻希子・日高洋

11:00-11:15 1C05 (28-05)

千葉県養老地域での土壌への有機ヨウ素の蓄積 (¹広大・²SPring-8) 嶋本洋子¹・寺田靖子²・高橋嘉夫¹

11:15-11:30 1C06 (28-06)

地球化学データに基づく地下水流動状態の長期的変遷に関する検討 (原研) 水野崇・岩月輝希・濱克宏・三枝博光

11:30-11:45 1C07 (28-07)

微量元素の有機錯体形成に関わる圧力依存性について (¹原研²コベルコ科研³神戸製鋼) 岩月輝希¹・濱克宏¹・今北毅²・栗本宣孝²・吉田治生²・加藤修³

11:45-12:00 1C08 (28-08)

熱水変質作用に伴う燐灰石、楔石、ジルコン内における元素の再分配挙動 (¹産総研²広大³仏国科学研究センター) 堀江憲路¹・日高洋²・François Gauthier-Lafaye³

9月17日 D会場 (12号館 1F1213 講義室)

セッション 07: 揮発性成分を理解することで地球内部の現象がよりよくわかる (コンピーナー: 松本拓也・角野浩史・川本竜彦)

09:25-09:40 1D01 (07-01 招待)

マントル捕獲岩 CPX の Li-Sr 同位体不均質 (¹JAMSTEC・²京大) 西尾嘉朗¹・山本順司²

09:40-10:00 1D02 (07-02 招待)

プレート沈み込みによるマントルへのホウ素輸送: 含ダイヤモンド電気石のホウ素同位体組成とその意義 (岡大) 太田努・

小林桂・中村栄三

10:00-10:15 1D03 (07-03)

気体が関与した重金属の移動と斑岩型鉱床の生成 (筑波大) 林謙一郎

10:15-10:30 1D04 (07-04)

沈み込み帯でのマグマ作りに二酸化炭素は重要か? (京大) 川本竜彦

10:30-10:45 1D05 (07-05 招待)

コマチアイト生成、噴火における揮発性成分の役割とマントル脱ガス史 (JAMSTEC) 清水健二

10:45-11:00 1D06 (07-06)

Can noble gases be recycled back to the deep mantle? (岡大) 松本拓也

11:00-11:15 1D07 (07-07)

非火山性温泉水分析を用いたスラブ脱水過程における化学・同位体分別の考察 (¹東大・²産総研・³JAMSTEC) 楠田千穂¹・岩森光¹・風早康平²・森川徳敏²・高橋正明²・高橋浩²・大和田道子²・石川剛志³・谷水雅治³・永石一弥³

11:15-11:30 1D08 (07-08 招待)

初生的な島弧玄武岩マグマは水に富む Caに富む斜長石斑晶の水素含有量からの制約 (¹京大・²東大) 浜田盛久¹・川本竜彦¹・藤井敏嗣²

11:30-11:45 1D09 (07-09 招待)

スラブ流体の分布と沈み込む海洋プレートの構造 (¹産総研・²東大・³JAMSTEC・⁴東北大) 中村仁美¹・岩森光²・木村純一³・中島淳一⁴

11:45-12:00 1D10 (07-10 招待)

H₂O 高压氷の 126 GPa までの体積変化と水素結合対称化転移 -放射光 X 線回折測定と密度凡関数計算を用いて- (¹東工大・²理研・³JAMSTEC・⁴JASRI) 杉村恵実子¹・飯高敏晃²・廣瀬敬^{1,3}・河村雄行¹・佐多永吉³・大石泰生⁴

12:00-12:20 1D11 (07-11 招待)

マントルに大量の水は存在するのか? (岡大) 芳野極

9月17日 E会場 (12号館 1F1214 講義室)

セッション 02: 月、火星、太陽系小天体の起源と進化 (コンピーナー: 三浦弥生・橋爪光・山口亮)

09:50-10:05 1E01 (02-01)

Tafassasset 隕石の主要及び微量元素組成 (¹首都大・²極地研) 田村麻衣¹・篠塚一典¹・海老原充¹・山口亮²

10:05-10:20 1E02 (02-02 招待)

揮発性元素に富む小惑星起源の安山岩 GRA06128 (¹極地研・²阪大・³東大) 荒井朋子¹・佐伯和人²・武田弘³

10:20-10:35 1E03 (02-03)

ユークライト隕石母天体地殻の部分溶融について (¹極地研・²UBO-IUEM・³首都大・⁴フロリダ州立大・⁵名大) 山口亮¹・J.A. Barrat²・海老原充³・白井直樹⁴・岡本千里⁵

10:35-10:55 1E04 (02-04 招待)

初期金星大気の流れ力学的散逸 (¹東工大・²東大) 佐々木貴教¹・阿部豊²

10:55-11:15 1E05 (02-05 招待)

かぐや (SELENE) 搭載 LISM (Lunar Imager/Spectrometer) による月面鉱物探査 (¹環境研・²JAXA) 松永恒雄¹・大竹真紀子²・春山純一²・LISM Working Group

11:15-11:30 1E06 (02-06)

月探査衛星「かぐや」搭載ガンマ線分光計で探る月表層元素組成 (¹早大・²埼玉県大・³日医大) 唐牛讓¹・柴村英道²・小林正規³・奥平修¹・山下直之¹・小林進吾¹・晴山慎¹・岩淵和也¹・根本慎平¹・早津佳那子¹・武田侑子¹・塚田耕一¹・長岡央

¹・長谷部信行¹

11:30-11:45 1E07 (02-07)

月隕石 Dhofar 1428 の元素組成 (¹首都大・²極地研) 日高義浩¹・海老原充¹・山口亮²

11:45-12:00 1E08 (02-08)

Yamato 000097 レルゾライト質シャープゴットタイトの形成年代 (¹極地研・²総研大) 三澤啓司^{1,2}・新原隆史²・海田博司^{1,2}

9月17日 F会場 (12号館 1F1212 講義室)

セッション 25: 新しい分析技術の開発とその応用 (コンピーナー: 横山哲也・平田岳史・岩森光)

10:20-10:35 1F01 (25-01)

石英中の流体包有物の Li-Sr 同位体比を測定する試み (¹筑波大・²JAMSTEC) 増川恭子¹・西尾嘉朗²

10:35-10:50 1F02 (25-02)

フェムト秒レーザーアブレーション ICP 質量分析計による元素分析の新展開 (東工大) 平田岳史・昆慶明・横山隆臣・横山哲也

10:50-11:05 1F03 (25-03)

高温・高圧下におけるオスミウムの金属 - シリケート間分配係数の決定 (¹東工大・²コロンビア大・³メリーランド大) 横山哲也¹・Walker David²・Walker Richard J.³

11:05-11:25 1F04 (25-04 招待)

パルス中性子線源を用いた新しい地球科学の創成 (東大) 鍵裕之

11:25-11:45 1F05 (25-05 招待)

地球化学・環境化学研究のための XAFS の今後: より多くの元素へ、より高い空間分解能で、EXAFS まで (広大) 高橋嘉夫

11:45-12:00 1F06 (25-06)

地球化学データの多変量解析とその周辺 (東大) 岩森光

9月17日 A会場 (13号館 2F1323 講義室)

セッション 21: 地球外および海底系熱水系有機物と生命の起源 (コンピーナー: 小林憲正・三田肇・鈴木勝彦)

14:20-14:35 1A09 (21-09)

熱水マイクロフローリアクターを用いるオリゴペプチドの非生物的生成反応の速度解析 (大阪府大) 川村邦男・竹家均・嶋橋政徳・秋吉藍・西輝之・崎山智文

14:35-14:50 1A10 (21-10)

高温高圧条件下での前生物的ペプチドの生成: 初期地球のダイナミクス的重要性 (東北大) 掛川武

14:50-15:05 1A11 (21-11)

隕石構成鉱物、水および窒素の衝突反応による有機分子の生成 (¹東北大・²物材機構) 古川善博¹・関根利守²・大庭雅寛¹・掛川武¹・中沢弘基²

15:05-15:25 1A12 (21-12 招待)

深海熱水噴出孔の物理化学(JAMSTEC) 出口茂

セッション 14: 陸と海の熱水循環システムの地球化学 (コンピーナー: 石橋純一郎・千葉仁)

15:25-15:40 1A13 (14-01)

鳩間海丘における海底熱水の化学組成 (¹琉球大・²九大・³北大・⁴東大⁵岡大⁶JAMSTEC) 土岐知弘¹・岩田大吾¹・大森保¹・石橋純一郎²・角皆潤³・佐野有司⁴・川口慎介⁴・蒲生俊敬⁴・山中寿朗⁵・高井研⁶

15:40-15:55 1A14 (14-02)

水曜海山熱水系における微量金属元素の地球化学的研究 (¹東大・²九大・³静大) 寺西源太¹・小畑元¹・蒲生俊敬¹・石橋純一郎²・木村浩之³

15:55-16:10 1A15 (14-03)

鹿児島湾若尊カルデラにおける噴気気泡挙動の観測 (¹(財)電中研・²(株)セレス) 下島公紀¹・宮川公雄¹・前田義明²

セッション 20: 有機地球化学 (コンピーナー: 奈良岡浩・高野淑識)

16:15-16:30 1A16 (20-01)

膜脂質の炭素・水素同位体組成から見たメタンハイドレート濃集域堆積物深部の古細菌活動 (九大) 金子雅紀・奈良岡浩

16:30-16:45 1A17 (20-02)

日本海の氷期 間氷期堆積物に含まれる古細菌膜脂質由来のピフィタンの存在度 (九大) 新開宏・奈良岡浩

16:45-17:00 1A18 (20-03)

深海堆積物高等植物ワックスの炭素同位体比時系列変化が示唆する堆積時差 (¹ 北大・² モラツワ大) 鈴木徳行¹・ナリノトナヤケ²

17:00-17:15 1A19 (20-04)

南中国三峡地域の原生代 / 顕生累代境界層から抽出したバイオマーカー (東工大) 山田健太郎・上野雄一郎・山田桂大・吉田尚弘・丸山茂徳

17:15-17:30 1A20 (20-05)

中期白亜紀海洋無酸素事変 1a および 1b 層準のバイオマーカー分析によるアーキアおよびバクテリアの古生産の復元 (北大) 岡野和貴・沢田健・高嶋礼詩・西弘嗣

17:30-17:50 1A21 (20-06 招待)

古細菌由来のエーテル脂質による地球環境解析: 暁新世/始新世境界の地球温暖化事変と海底熱水孔における微生物活動の解析への貢献 (¹ 東北大・² 北大・³ 産総研) 大庭雅寛¹・海保邦夫¹・掛川武¹・山本正伸²・坂田将³・古川善博¹・佐藤誠悟¹

9月17日 B会場 (12号館 2F1225 講義室)

セッション 27: 都市環境の地球化学と人間 - 自然相互作用 (コンピーナー: 益田晴恵・丸茂克美)

14:20-14:40 1B10 (27-10 招待)

青森地域における土壌・堆積物, 温泉水, 及び河川水中の重金属元素 (産総研) 丸茂克美・山村充・小野木有佳

14:40-14:55 1B11 (27-11)

バングラデシュの完新世堆積物中の季節的地下水位変動に伴うヒ素の変動がヒ素汚染地下水に与える影響 (¹ 大阪市大・² 岡大・³ 信大・⁴ ダッカ大) セディキアシュラフアリ¹・益田晴恵¹・三田村宗樹¹・篠田圭司¹・山中寿朗²・中屋眞司³・アーメッドカジマティン⁴

セッション 10: 地震発生素過程, 断層帯・活断層の化学, 地震活動に関連した化学観測 (コンピーナー: 田中秀実・角森史昭)

15:05-15:20 1B12 (10-01)

新生「地震化学」に望むこと (産総研) 小泉尚嗣

15:20-15:35 1B13 (10-02)

平成 20 年(2008) 岩手・宮城内陸地震後の震源域周辺における ³He/⁴He 比の変化について (阪大) 堀口桂香・松田准一

15:35-15:50 1B14 (10-03)

1978 年伊豆大島近海地震での地下水ラドン濃度の減少 (¹ 東大・² 台湾国立成功大) 角森史昭¹・郭明錦²

15:50-16:05 1B15 (10-04)

兵庫県南部地震前のラドン散逸と地殻歪変化の呼応について (¹ 神戸薬大・² エディンバラ大・³ 東北大・⁴ 放医研) 安岡由美¹・川田祐介²・長濱裕幸³・大森康孝³・石川徹夫⁴・床次眞司⁴・志野木正樹¹

16:05-16:20 1B16 (10-05)

削剥された地質断層からみる、断層深部での破壊開始と流体移動 (¹ 産総研・² 東京学芸大・³ 岐阜大) 重松紀生¹・藤本光一郎²・大谷具幸³

16:30-16:45 1B17 (10-06)

台湾車籠埔断層注水実験 化学分析から水の到着を監視する (¹ 東大・² 台湾国立中央大) 村上雅紀¹・田中秀実¹・馬國鳳²

16:45-17:00 1B18 (10-07)

鉱物の溶解による断層面の潤滑 (¹ 東大・² 台湾国立中央大・³ NSRRC) 田中秀実¹・陳維民²・陳一銘³・宋艶芳³・馬國鳳²

17:00-17:15 1B19 (10-08)

台湾チェルンブ断層掘削計画 Hole B 掘削コア試料中の黒色断層ガウジ帯の ESR 分析 (¹ 山口大・² 長崎県庁・³ (株) エステム・⁴ JAMSTEC・⁵ 国立台湾大) 福地龍郎¹・田中大地²・松原拓穂³・徐垣⁴・宋聖榮⁵

17:15-17:30 1B20 (10-09)

地震発生サイクルにおける岩石破壊励起型化学過程の寄与 - 岩石粉碎実験からのアプローチ - (東大) 齊藤友比古・田中秀実

17:30-17:45 1B21 (10-10)

断層充填鉱物脈の微細化学組成から復元された地震時の還元流体: 付加体中の大規模衝上断層を例として (東大) 山口飛鳥・木村学

9月17日 C会場 (12号館 2F1222 講義室)

セッション 28: 放射性廃棄物と地球化学 (コンピーナー: 日高洋・吉田英一・山本鋼志)

14:20-14:35 1C09 (28-09)

マンガン酸化物への4価プルトニウムの吸着と酸化 (原研) 田中万也・大貫敏彦

14:35-14:50 1C10 (28-10)

地下深部花崗岩の割れ目(帯)に沿う変質帯の物質移動・遅延機能 (¹名古屋市科学館・²名大) 西本昌司¹・吉田英一²

14:50-15:05 1C11 (28-11)

Mn 酸化微生物と Ce(III)との相互作用 (原研) 大貫敏彦・香西直文・鈴木義則・坂本文徳

15:05-15:25 1C12 (28-12 招待)

Bacteria and plant induced alteration of waste glass (¹仏国科学研究センター²・²レイ・パスツール大) P. Stille¹・J.-L. Crovisier¹・G. Aouad¹・V. Geoffroy²

セッション 24: 重元素を用いた安定同位体地球化学 (コンピーナー: 谷水雅治・平田岳史)

15:35-15:50 1C13 (24-01)

海水からの Mg 迅速分離法の確立とその同位体的均質性の検証 (¹JAMSTEC・²東大) 谷水雅治¹・豊福高志¹・小畑元²

15:50-16:05 1C14 (24-02)

炭酸塩鉱物におけるマグネシウム・カルシウム・ストロンチウムの同位体分別 (東工大) 大野剛・若林貴弘・笠倉祥文・平田岳史

16:05-16:20 1C15 (24-03)

海水、陸水中モリブデン同位体組成 (¹京大・²原研・³東工大) 中川裕介¹・M. Lutfi Firdaus¹・則末和宏¹・宗林由樹¹・入澤啓太²・平田岳史³

16:20-16:40 1C16 (24-04 招待)

量子化学計算による各種鉄錯体間の同位体分配係数算出に向けたアプローチ (北大) 武次ゆり子

16:50-17:05 1C17 (24-05)

銅同位体比局所分析法の開発と地球化学試料への応用 (¹東大・²東工大) 池端慶¹・野津憲治¹・平田岳史²

17:05-17:20 1C18 (24-06)

ダブルスパイク法を用いた表面電離型質量分析計による Sr 安定同位体分析 (¹名大・²北大) 加藤大輔¹・若木重行^{1,2}・田中剛¹

17:20-17:35 1C19 (24-07)

多重検出器誘導結合プラズマ質量分析計を用いたユウロピウムの安定同位体分析 (¹名大・²北大・³JAMSTEC) 田中浩史¹・若木重行^{1,2}・谷水雅治³・田中剛¹

17:35-17:50 1C20 (24-08)

マグマの分化作用に伴う Eu および Sr の高温同位体分別 (¹北大・²名大・³JAMSTEC) 若木重行^{1,2}・田中浩史²・加藤大輔²・谷水雅治³・田中剛²

9月17日 D会場 (12号館 1F1213 講義室)

セッション 07: 揮発性成分を理解することで地球内部の現象がよりよくわかる (コンピーナー: 松本拓也・角野浩史・川本竜彦)

14:20-14:35 1D12 (07-12 招待)

マグマと水の第2臨界終端点が意味するもの (東大) 三部賢治

14:35-14:50 1D13 (07-13 招待)

アセノスフェアの正体: 古い太平洋プレート上に噴出したアルカリ玄武岩からの考察 (¹東工大・²金沢大・³ハレ大) 高橋栄一¹・平野直人²・竹原直希¹・Paras Bhatta³

セッション 05: マントル物質の化学とダイナミクス (コンピーナー: 下田玄・小木曾哲・清水健二・鈴木勝彦)

14:50-15:05 1D14 (05-01)

中央海嶺玄武岩 (MORB) および関連するはんれい岩やかんらん岩のヘリウム同位体 (¹JAMSTEC・²金沢大・³産総研・⁴東大・⁵新潟大) 熊谷英憲¹・阿部なつ江¹・佐藤佳子¹・森下知晃²・下司信夫³・中村謙太郎⁴・根尾夏紀⁵

15:05-15:20 1D15 (05-02)

フランス中央山塊マントル捕獲岩の Sr-Nd 同位体・岩石学的特徴 (京大) 芳川雅子・川本竜彦・山本順司

15:20-15:35 1D16 (05-03)

伊豆島弧の脱水流体中の Be 濃度・同位体比の推定 (¹東大・²環境防災総合政策研究機構³・千葉大) 後反克典¹・中井俊一¹・新堀賢志²・津久井雅志³・藤井敏嗣¹・中田節也¹・松崎浩之¹

15:35-15:50 1D17 (05-04)

結晶分別作用が玄武岩マグマに含まれる硫黄の溶解度に及ぼす影響: HIMU と FOZO の起源物質生成に果たす役割 (1 産総研²京大) 下田玄¹・小木首哲²

15:50-16:05 1D18 (05-05)

パイロキシナイトに記録されたオスミウム同位体比変動と地殻-マントル物質循環 (1 JAMSTEC² 英国グラム大) 石川晃¹・Pearson D. Graham²・Dale Christopher W.²

16:05-16:20 1D19 (05-06)

ハワイ島フアラライ火山盾状期溶岩の同位体地球化学 (1 京大² 熊本大³ サンディエゴ州立大) 山崎誠子¹・可児智美²・Hanan Barry B.³・田上高広¹

16:30-16:45 1D20 (05-07)

地球試料における W 同位体比測定: マントル進化への制約 (1 東大² JAMSTEC) 賞雅朝子¹・中井俊一¹・Sahoo Yu Vin¹・羽生毅²・川畑博²

16:45-17:00 1D21 (05-08)

ハワイ火山の初期ステージに見られる多様なマグマ源 (1 JAMSTEC² 島根大) 羽生毅¹・木村純一¹・交久瀬磨衣子²

17:00-17:15 1D22 (05-09)

同位体比から地球内部の状態を読み解くには? (東大) 兼岡一郎

17:15-17:35 1D23 (05-10 招待)

南太平洋マントルプレュームの地震学的イメージ (1 JAMSTEC² 東大³ Univ. Montpellier II⁴ CEA) 大林政行¹・末次大輔¹・田中聡¹・一瀬建日²・吉光淳子¹・塩原肇²・杉岡裕子¹・金沢敏彦²・深尾良夫¹・Barroul Guilhem³・Reymond Dominique⁴

17:35-17:55 1D24 (05-11 招待)

高圧地球化学からみた地球の進化とダイナミクス (東北大) 大谷栄治

9月17日 E会場 (12号館 1F1214 講義室)

セッション 23: ナノジオケミストリー: 鉱物表面・界面、地球化学プロセスの基礎科学 (コンピーナー: 宇都宮聡・太田充恒・鍵裕之)

14:20-14:35 1E09 (23-01)

下部マントルまで安定な含水鉱物における水素結合の圧力応答 - delta-AIOOH を例に - (東大) 牛嶋大地・佐野亜沙美・鍵裕之

14:35-14:50 1E10 (23-02)

重炭酸カリウムの圧力誘起構造相転移における同位体効果の探索 (1 東大² 北大) ¹飯塚理子¹・小松一生¹・鍵裕之²・永井隆哉¹・佐野亜沙美

14:50-15:05 1E11 (23-03)

硫酸バリウムと水溶液間における希土類元素分配反応の実験的研究 (名大) 奥村友幸・川邊岩夫

15:05-15:20 1E12 (23-04)

鉄水酸化物・マンガン酸化物中の希土類元素の局所構造の系統的变化と固液間分配係数パターンとの関係 (1 産総研² 東大³ 高工ネ研⁴ 横国大⁵ 名大) 太田充恒¹・鍵裕之²・野村昌治³・津野宏⁴・川邊岩夫⁵

15:20-15:35 1E13 (23-05)

ランタニド・リン酸塩 (LnPO₄) の「酸化物からの標準生成エンタルピー」とモナズ石/ゼノタイム系列の相互関係: Jørgensen 理論と四組効果の重要性 (名大) 川邊岩夫

15:35-15:50 1E14 (23-06)

花崗岩質岩石の生成機構の指標としてのモナズ石の希土類元素パターン (筑波大) 星野美保子・木股三善・西田憲正・清水雅浩

16:00-16:15 1E15 (23-07)

鉱物中の非晶質ナノ領域: その形成、存在状態、その場でおこる現象と地球化学的プロセスへの影響 (九大) 宇都宮聡

16:15-16:35 1E16 (23-08 招待)

地球内部の界面化学 (東大) 平賀岳彦

16:35-16:50 1E17 (23-09)

生成温度の異なる針鉄鉱の結晶形態と表面化学 (国際農林水産業研究センター) 越後拓也・八田珠郎・根本清子

16:50-17:05 1E18 (23-10)

AFM を用いたカルサイトの絶対的ステップ速度の測定 (1 東大² 島津製作所) 吉野徹¹・鍵裕之¹・粉川良平²

17:05-17:20 1E19 (23-11)

金属硫化物への金(III)錯イオンの吸着/還元挙動 (九大) 赤松美里・岡上吉広・横山拓史

17:20-17:40 1E20 (23-12 招待)

鉱物 - 水境界の鉱物と溶液の構造と化学 (東大) 村上隆

9月17日 F会場 (12号館 1F1212 講義室)

セッション 18: 土壌・陸域生態系の物質循環 (コンピーナー: 杉本敦子・赤木右・八木一行・高橋善幸・楊宗興)

14:20-14:40 1F07 (18-01 招待)

原位置における硝酸の酸素安定同位体比が森林土壌中での総硝化量がいかに大きいかを物語る (1 東大・2 農環研・3 鹿児島大・4 京大) 大手信人¹・尾坂兼一²・館野隆之輔³・徳地直子⁴

14:40-15:00 1F08 (18-02 招待)

土地利用変化が流域レベルにおける温室効果ガス放出量に及ぼす影響 (1 農工大・2 北大・3 中国西南大) 木村園子・ドロテア¹・当真要²・山田浩之²・木志堅³・波多野隆介²

15:00-15:15 1F09 (18-03)

現場実測値データベースを元にした世界の水田からのメタン発生量の見積もり (1 農環研・2 中国科学院・3 農環研・4 JAMSTEC) 八木一行¹・顔曉元²・秋山博子³・秋元肇⁴

15:15-15:30 1F10 (18-04)

土壌有機物分解起源 CO₂ の炭素安定同位体比の時間変動性 (1 環境研・2 環境研) 高橋善幸¹・梁乃申²

15:30-15:45 1F11 (18-05)

北海道幌延地域の深部地下水に腐植物質の特徴 (1 北大・2 原研) 長尾誠也¹・岩月輝希²・吉川英樹²

15:45-16:00 1F12 (18-06)

放射性炭素同位体を用いた森林土壌有機炭素の滞留時間推定に向けた土壌有機炭素の比重分画の検討 (環境研) 近藤美由紀・内田昌男・和穎朗太

16:10-16:25 1F13 (18-07)

生物における同位体比の新しいミキシング理論 定濃度ミキシング (九大) 赤木右

16:25-16:40 1F14 (18-08)

四種硫黄同位体比を用いた成層湖、深見池における季節変動解析 (東工大) 中川麻悠子・上野雄一郎・吉田尚弘

16:40-16:55 1F15 (18-09)

三酸素同位体組成を指標に用いた貧栄養湖沼中の窒素循環解析 (1 北大・2 環境研) 代田里子¹・小松大祐¹・大久保智¹・中川書子¹・角皆潤¹・田中敦²

16:55-17:10 1F16 (18-10)

森林生態系における沈着窒素の利用効率 (1 北大・2 富山大院) 角皆潤¹・小松大祐¹・代田里子¹・中川書子¹・張勁²

17:10-17:25 1F17 (18-11)

高標高山岳域における大気沈着窒素、植物、地衣類、サルの低い窒素安定同位体比 (1 農工大・2 首都大・3 信大) 楊宗興¹・中下留美子²・北澤陽子¹・深山景亮¹・宮本侑¹・泉山茂之³

9月17日 A会場 (13号館 2F1323 講義室)

セッション 29: 地球化学教育の現状と今後の課題、地球化学者のキャリアパス (コンピーナー: 瀧上豊・橋省吾・津野宏)

後援 日本地球惑星科学連合

18:00-18:09

はじめに: 地球惑星科学と多様なキャリアパス (東大) 橋省吾

18:09-18:26 1A22 (29-01 招待)

“研究道”のエッセンス: アカデミック・キャリアパスからのつづやき (阪大) 藪田ひかる

18:26-18:43 1A23 (29-02 招待)

地球化学から材料工学へのキャリアパス (都産技研) 清水綾

18:43-19:00 1A24 (29-03 招待)

科学コミュニケーションという仕事 (高エネ研) 山中敦子

19:00-19:30 パネルディスカッション

「キャリアパスと地球化学教育を考える」

9月18日 A会場 (13号館 2F1323 講義室)

09:00-10:30 総会

9月18日 A会場 (13号館 2F1323 講義室)

受賞講演

10:30-10:50 2J01 (奨励賞)

大気および氷床コア試料の精密分析に基づく揮発性有機化合物の地球化学的研究 (環境研) 斉藤拓也

10:50-11:10 2J02 (奨励賞)

重元素の高精度安定同位体分析とその同位体分別機構に関する基礎的研究 (JAMSTEC) 谷水雅治

11:10-11:30 2J03 (奨励賞)

沈み込む海洋プレート上の新タイプ火山活動の発見とメカニズムの解明 (金沢大) 平野直人

11:30-12:00 2J04 (学会賞)

放射化学的手法による太陽系形成初期における物質進化の研究 (首都大) 海老原充

12:00-12:30 2J05 (柴田賞)

現世堆積有機物の地球化学的研究 (都立大名誉教授) 石渡良志

9月18日 A会場 (13号館 2F1323 講義室)

セッション 03: 新しいサンプルリターン時代の分析法・体制とその成果 (コンピーナー: 土山明・海老原充・富岡尚敬)

14:50-15:10 2A01 (03-01 招待)

短周期彗星 81P/ピルト第2彗星から回収されたコンドリュール (¹九大・²茨大・³阪大・⁴ウイスコンシン大・⁵NASA・⁶SPRing-8・⁷産総研) 中村智樹¹・野口高明²・土山明³・牛久保孝行⁴・木多紀子⁴・バレージョン⁴・ゾレンスキーマイケル⁵・嘉数勇基¹・坂本佳奈子¹・増尾悦子³・上杉健太郎⁶・中野司⁷

15:10-15:25 2A02 (03-02)

ピルト2彗星粒子中のケイ酸塩鉱物及びSi-Oガラス:TEMによる研究 (¹神戸大・²岡大・³日本電子) 留岡和重¹・富岡尚敬²・大西市朗³

15:25-15:40 2A03 (03-03)

彗星塵衝突トラックの3次元構造 (¹阪大・²九大・³産総研・⁴JASRI) 飯田洋祐¹・土山明¹・中村智樹²・坂本佳奈子²・門野敏彦¹・中野司³・上杉健太郎⁴

15:40-15:55 2A04 (03-04)

エアロジェルを用いたサンプルリターンミッションのための超高速捕獲模擬実験 (¹JAXA・²茨大・³千葉大・⁴九大・⁵東葉大) 奥平恭子¹・野口高明²・長谷川直¹・矢野創¹・田端誠³・中村智樹⁴・山岸明彦⁵

15:55-16:15 2A05 (03-05 招待)

Samples Returned to Earth from Comet 81P/Wild 2 by the Stardust Spacecraft (NASA) Scott A. Sandford

16:15-16:30 2A06 (03-06)

軟X線吸収分光法による地球外微小サンプルの炭素化合物分析への適用と予想される成果・利点 (¹阪大・²カーネギー研究所・³パークレー国立研究所・⁴NASA) 藪田ひかる¹・コーディジョージ²・アレクサンダーコーネル²・キルコインデイビッド³・荒木暢³・サンドフォードスコット⁴

16:30-16:45 2A07 (03-07)

顕微赤外・ラマン分光法で探る地球外微小有機物 (¹阪大・²JAXA・³福岡工大・⁴横国大・⁵東葉大) 中嶋 悟¹・癸生川陽子¹・鈴木彰子¹・奥平恭子²・三田 肇³・小林憲正⁴・山岸明彦⁵

16:55-17:10 2A08 (03-08)

A first look at oxygen in a Genesis sample (¹UCLA・²ブリストル大・³岡大・⁴カリフォルニア工科大) Kevin McKeegan¹, Antti Kallio¹, George Jarzebinski¹, Chris Coath², 国広卓也³, Don Burnett⁴, Peter Mao⁴

17:10-17:30 2A09 (03-09 招待)

三朝における極微量地球惑星物質総合分析システム (岡大) 中村栄三

17:30-17:50 2A10 (03-10 招待)

Noble gas analyses of small extraterrestrial samples (¹東大・²九大) 長尾敬介¹・馬上謙一¹・岡崎隆司²・中村智樹²

9月18日 B会場 (12号館 2F1225 講義室)

セッション 20: 有機地球化学 (コンピーナー: 奈良岡浩・高野淑識)

14:50-15:05 2B01 (20-07)

光合成アンテナ蛋白質(phycobiliproteins)の安定同位体比 (JAMSTEC) 小川奈々子・力石嘉人・柏山祐一郎・富谷朗子・北里洋・大河内直彦

15:05-15:20 2B02 (20-08)

クロロフィルのアイソトポマー:理論と実践 (JAMSTEC) 大河内直彦・力石嘉人・小川奈々子・柏山祐一郎・北里洋

15:20-15:35 2B03 (20-09)

クロロ色素とその誘導体(ポルフィリン)の安定同位体分析に基づく光合成システムの多角的解析 (JAMSTEC) 柏山祐一郎・小川奈々子・力石嘉人・北里洋・大河内直彦

15:35-15:50 2B04 (20-10)

アミノ酸の窒素同位体比を用いた食物連鎖網解析 (JAMSTEC) 力石嘉人・小川奈々子・柏山祐一郎・高野淑識・菅寿美・北里洋・大河内直彦

15:50-16:05 2B05 (20-11)

アミノ酸の窒素同位体比分析を利用した北海道縄文時代人の食性解析 (¹東大・²オックスフォード大・³JAMSTEC) 内藤裕一¹・Noah V. Honch²・大河内直彦³・小川奈々子³・力石嘉人³・高野淑識³・柏山祐一郎³・米田穰¹

16:15-16:30 2B06 (20-12)

分子レベルから立体異性体分子レベル窒素同位体比への展開:原核生物のペプチドグリカンに含まれる D-, L-アラニン (JAMSTEC) 高野淑識・力石嘉人・小川奈々子・北里洋・大河内直彦

16:30-16:45 2B07 (20-13)

バイカル湖深層水における河川起源溶存有機物の保存 (¹兵庫県大・²オールドドミニオン大・³陸水研・⁴バイカル博物館・⁵佐賀大・⁶滋賀県大・⁷愛媛大・⁸京大) 杉山裕子¹・Hatcher Patrick²・熊谷哲¹・Valentin Drucker³・Vladimir Fialkov⁴・片野俊也⁵・三田村緒佐武⁶・中野伸一⁷・杉山雅人⁸

16:45-17:00 2B08 (20-14)

堆積物のキノン分析による細菌の古生産性および群集組成の復元:予察的研究 (北大) 沢田健

17:00-17:20 2B09 (20-15 招待)

海洋における微生物ループと物質循環 (JAMSTEC) 山本啓之

9月18日 C会場 (12号館 2F1222 講義室)

セッション 08:火山ガス・火山性流体の挙動、火山活動のモニタリング (コンピーナー:大場武・北逸郎・森俊哉・野上健治)

15:50-16:10 2C01 (08-01 招待)

エトナ火山の火山ガス供給過程 (¹産総研・²パレルモ大・³INGV) 篠原宏志¹・アイウッパアレキサンドロ²・ギウディチェグイタノ³・グリエリセルジオ³・リウツォマルコ³

16:10-16:30 2C02 (08-02 招待)

阿蘇火山中岳火口湯だまりの水質から探るマグマ性ガスの特徴 (¹信大・²京大) 齋藤武士¹・大沢信二²

16:30-16:45 2C03 (08-03)

1995年九重硫黄山噴火に伴って出現したマグマ水 (¹九大・京大) 北逸郎¹・糸井龍一¹・上田晃²

16:45-17:00 2C04 (08-04)

桜島、南岳火口及び昭和火口の火山噴煙中二酸化硫黄イメージング (東大) 風早竜之介・森俊哉

17:10-17:25 2C05 (08-05)

¹²⁹I とハロゲンから推定する草津白根山熱水系におけるヨウ素の起源 (¹学習院大・²東工大・³ロチェスター大) 柏木祐¹・村松康行¹・大場武²・U. Fehn³

17:25-17:40 2C06 (08-06)

台湾大屯山の噴気に観察された He 濃度および ³He/⁴He 比の異常 (¹東工大・²台湾国立大・³産総研) 大場武¹・澤毅¹・平徳泰¹・楊燦堯²・李曉芬²・藍徳芳²・大和田道子³・森川徳敏³・風早康平³

9月18日 D会場 (12号館 1F1213 講義室)

セッション 22:バイオミネラリゼーションと石灰化 -遺伝子から地球環境まで (コンピーナー:佐野有司・川幡穂高)

16:05-16:20 2D01 (22-01)

浮遊性有孔虫殻内の微小領域元素分布と石灰化作用 (東大) 白井厚太郎・高畑直人・佐野有司

16:20-16:35 2D02 (22-02)

石灰化による酸性化効果によるサンゴの石灰化の負のフィードバック効果 (¹東大・²産総研) 川幡穂高¹・鈴木淳²

16:35-16:50 2D03 (22-03)

耳石の Sr 同位体比によるアユの回遊履歴解明の試み (1 東大・2 JAMSTEC) 天川裕史¹・鈴木隆史¹・高橋俊郎²・巽好幸²・大竹二雄¹

16:50-17:05 2D04 (22-04)

養殖クロチョウガイの貝殻を用いた酸素同位体比による成長過程復元 (1 慶大・2 産総研・3 東大) 田子裕子¹・鈴木淳²・中島礼²・川幡穂高³・鹿園直建¹

17:05-17:20 2D05 (22-05)

温度制御下で飼育したサンゴクローンサンプル(Porites australiensis)の微量元素変動 (1 東大・2 琉球大・3 産総研) 井上麻夕里¹・古賀奏子²・酒井一彦²・鈴木淳³・川幡穂高¹

17:20-17:40 2D06 (22-06)

サンゴ骨格の酸素同位体比温度計の安定性に関する飼育実験による検討 (1 産総研・2 琉球大・3 東大) 鈴木淳¹・古賀奏子²・酒井一彦²・井上麻夕里³・川幡穂高³

9月18日 E会場 (12号館 1F1214 講義室)

セッション 12: 堆積物、堆積岩の地球化学 (コンピーナー: 山本鋼志・杉谷健一郎・三村耕一・加藤泰浩・丸岡照幸)

14:50-15:10 2E01 (12-01 招待)

ビルバラクラトン・マウントゴールズワージー地域に産する太古代堆積岩の岩石学・地球化学・古生物学 (名大) 杉谷健一郎

15:10-15:25 2E02 (12-02)

太古代 (>3.0Ga)の微生物化石を含む黒色チャートの成因 希土類元素からの考察 (名大) 菅原春菜・杉谷健一郎・山本鋼志・三村耕一

15:25-15:40 2E03 (12-03)

北上地方、ペルム紀登米層に産する燐酸塩岩の成因 (信大) 森清寿郎

15:40-15:55 2E04 (12-04)

ペルム紀/トリアス紀境界における海水 Os 同位体組成の急激な変動 (1 東大・2 JAMSTEC・3 芦屋大) 加藤泰浩¹・鈴木勝彦²・藤永公一郎¹・西内隆純¹・黒田潤一郎²・桑原希世子³

15:55-16:10 2E05 (12-05)

日本列島付加体中のアンバーから復元した顕生代海水の Os 同位体比記録 (1 東大・2 JAMSTEC) 藤永公一郎¹・加藤泰浩¹・鈴木勝彦²

16:10-16:25 2E06 (12-06)

古生代 Sr 同位体比 minimum: 古海山頂部石灰岩の記録 (1 熊本大・2 東大) 可児智美¹・磯崎行雄²・福井真美子¹・久鍋千尋¹

16:25-16:40 2E07 (12-07)

愛知県下、北部秩父帯中の隣接する同時代の石灰岩体から得られた大きく異なる Sr 同位体組成 (1 名大・2 宮崎大) 鈴木和博¹・山北聡²・浅原良浩¹・三村耕一¹・田中剛¹

16:50-17:05 2E08 (12-08)

Re-Os 同位体による別子型塊状硫化物鉱床の生成年代決定 (1 東大・2 JAMSTEC) 野崎達生¹・加藤泰浩¹・鈴木勝彦²

17:05-17:20 2E09 (12-09)

光合成によるストロマトライト形成 (広大) 白石史人

17:20-17:35 2E10 (12-10)

炭酸塩構造置換態硫酸の硫黄同位体比分析 (筑波大) 丸岡照幸・鈴木紀充

17:35-17:50 2E11 (12-11)

植物プランクトンの有機物組成がその初期分解過程に与える影響 (1 筑波大・2 茨城県栽培漁業協会) 花町優次¹・濱健夫¹・野内孝則²

9月18日 F会場 (12号館 1F1212 講義室)

セッション 16: 大気水圏とそれらの相互作用、気候変動 (コンピーナー: 野尻幸宏・植松光夫・吉田尚弘)

14:50-15:10 2F01 (16-01 招待)

西部北太平洋における気候変動に対する生態系変動を介した物質循環の変動とフィードバックの研究のための時系列定点観測 (JAMSTEC) 才野敏郎

15:10-15:25 2F02 (16-02)

溶存酸素の三種同位体組成による水圏 O₂ 収支評価 ~ 琵琶湖定点観測の例 ~ (1 名大・2 滋賀県琵琶湖環境科学研究センター・3 インド国立海洋研究所・4 東工大) 阿部理¹・早川和秀²・VVSS Sarma³・吉田尚弘⁴

15:25-15:40 2F03 (16-03)

一酸化二窒素の高精度三酸素同位体定量法開発 (北大) 小松大祐・石村豊穂・中川書子・角皆潤

15:40-15:55 2F04 (16-04)

太平洋中部赤道域における海洋生物起源気体による粒子形成 (東大) 真野佑輝・井口秀憲・成田祥・岩本洋子・植松光夫

15:55-16:10 2F05 (16-05)

北西部北太平洋における海水中のジメチルサルファイドの鉛直分布の解明に関する研究 (北大) 本間則仁・渡辺豊・坂本愛

16:10-16:25 2F06 (16-06)

北西部北太平洋における溶存気体 N₂ と Ar の時系列変化 (1 北大・2 水産研究センター) 伊藤昌稚¹・渡辺豊¹・田中伸一²・小埜恒夫²

16:25-16:40 2F07 (16-07)

海洋表層における溶存窒素、アルゴン、酸素を用いた正味の酸素生産速度の新たな見積り方法 (水産研究センター¹・北大²) 田中伸一^{1,2}・渡辺豊²・小埜恒夫¹

16:40-16:55 2F08 (16-08)

北太平洋西部における海洋表層炭酸系の変化傾向 (1 気象研究所・2 気象庁・3 北大) 緑川貴¹・石井雅男¹・斎藤秀¹・時枝隆之¹・笹野大輔¹・中館明²・吉川久幸³

16:55-17:10 2F09 (16-09)

炭素安定同位体を用いた北太平洋における人間活動起源二酸化炭素の吸収量の変動の見積り (1 北大・2 原研) 渡辺豊¹・千葉武史¹・田中孝幸²

17:10-17:25 2F10 (16-10)

日本 - オセアニア航路貨物船を利用する海洋表層二酸化炭素分圧定常観測 (環境研) 野尻幸宏・津守博通・宮崎千尋

17:25-17:40 2F11 (16-11)

北太平洋移行領域の直接通気層の経年変動性 (1 気象研究所・2 気象庁) 時枝隆之¹・石井雅男¹・斎藤秀¹・緑川貴¹・中館明²

17:40-17:55 2F12 (16-12)

アイソトポマー比を用いた都市河川における N₂O の動態解析 (1 東工大・2 農工大) 豊田栄¹・岩井宏之¹・木庭啓介²・吉田尚弘¹

9月19日 A会場 (13号館 2F1323 講義室)

セッション 03: 新しいサンプルリターン時代の分析法・体制とその成果 (コンピーナー: 土山明・海老原充・富岡尚敬)

09:00-09:15 3A01 (03-11)

微小試料のための希ガス抽出用加熱炉の開発 (東大) 馬上謙一・中村好伸・赤井田智宏・長尾敬介

09:15-09:30 3A02 (03-12)

CH₃ コンドライト SaU 290 のコンドリュールの希ガス同位体組成 (東大) 中嶋大輔・長尾敬介

09:30-09:45 3A03 (03-13)

MPGA - 中性子を利用する革新的非破壊元素分析法 (1 首都大・2 原研) 海老原充¹・大浦泰嗣¹・藤暢輔²・大島真澄²

09:45-10:00 3A04 (03-14)

放射光イメージングを用いたはやぶさサンプルの初期分析 (1 阪大・2 SPring-8・3 産総研・4 九大・5 茨大) 土山明¹・上杉健太郎²・中野司³・中村智樹⁴・野口高明⁵

10:00-10:15 3A05 (03-15)

はやぶさサンプルの分析と期待される成果(岩石・鉱物学) (1 茨大・2 九大・3 物材機構) 野口高明¹・中村智樹²・田中雅彦³

10:15-10:30 3A06 (03-16)

顕微分光法による地球外物質中の炭素質物質の分析 (九大) 北島富美雄

10:45-11:00 3A07 (03-17)

惑星試料キュレーション設備について (JAXA) 矢田達・藤村彰夫・安部正真・田中智・惑星物質試料受入設備検討委員会

11:00-11:15 3A08 (03-18)

ポストはやぶさ時代の始原天体探査プログラム (JAXA) 矢野創

11:15-11:30 3A09 (03-19)

かぐやデータと月試料の融合研究が拓く月科学 (1 極地研・2 環境研・3 JAXA・4 産総研) 荒井朋子¹・松永恒雄²・大竹真紀子³・春山純一³・中村良介⁴・小川佳子²

11:30-11:45 3A10 (03-20)

リターンサンプルを基礎とした月遠隔観測の成果 (1 阪大・2 JAXA・3 環境研) 佐伯和人¹・大竹真紀子²・松永恒雄³・春山純一²・岡田達明²

11:45-12:00 3A11 (03-21)

火星上空ダスト・大気サンプルリターンの可能性とその意義 (東大) 橋省吾・杉田精司・宮本英昭・三河内岳

9月19日 B会場 (12号館 2F1225 講義室)

セッション 16: 大気水圏とそれらの相互作用、気候変動 (コンピーナー: 野尻幸宏・植松光夫・吉田尚弘)

09:00-09:15 3B01 (16-13)

生態系モデルを用いた沈降粒子中窒素安定同位体比の季節変動の解析 (1 北大・2 環境総合テクノス) 重光雅仁¹・山中康裕¹・渡辺豊¹・前田巨宏²・乗木新一郎¹

09:15-09:30 3B02 (16-14)

礁斜面を含むサンゴ礁生態系の炭素循環 (東北大) 中村隆志・中森亨

09:30-09:45 3B03 (16-15)

日本近海の表層水中における水素ガスの挙動に関する研究 (東大) 成田拓・川口慎介・小畑元・福田秀樹・小川浩史・蒲生俊敬

09:45-10:00 3B04 (16-16)

亜熱帯海洋大気中の生物起源揮発性有機化合物の日変化 (環境研) 横内陽子・斉藤拓也・向井人史

10:00-10:15 3B05 (16-17)

西部北太平洋亜寒帯におけるハロカーボン類の動態と大気海洋間フラックスの特徴 (環境研) 大木淳之・横内陽子

セッション 17: 地球大気化学: ガス・エアロゾル (コンピーナー: 谷本浩志・遠嶋康徳・柳澤文孝・河村公隆)

10:25-10:40 3B06 (17-01)

東南アジア熱帯林から放出される塩化メチルとイソブレン (1 環境研・2 京大・3 マレーシア森林研究所・4 広大) 斉藤拓也¹・横内陽子¹・小杉緑子²・谷誠²・Philip Elizabeth³・奥田敏統⁴

10:40-10:55 3B07 (17-02)

つくばと榛名山における降下物中のプルトニウムとトリウム同位体について (気象研究所) 廣瀬勝己・五十嵐康人・猪俣弥生・青山道夫

10:55-11:15 3B08 (17-03 招待)

定期航空機を利用した二酸化炭素濃度の観測とその意義 (1 気象研究所・2 環境研) 松枝秀和¹・町田敏暢²・澤庸介¹

11:15-11:30 3B09 (17-04)

XANES 法を用いたエアロゾル中の還元形イオウの特定 (広大) 東将之・三好拓朗・高橋嘉夫・清水洋

11:30-11:45 3B10 (17-05)

Ca²⁺, SO₄²⁻, NH₄⁺の3成分の三角ダイアグラムを用いた大気エアロゾルの化学的特徴の考察 (¹九大・²気象研究所・³江戸川大) 鈴木一成¹・五十嵐康人²・土器屋由紀子³・赤木右¹

11:45-12:00 3B11 (17-06)

国内大気降水試料の異常ウラン同位体比 (¹上智大・²東工大・³武蔵工大・⁴気象研究所) 木川田喜一¹・小田幸平¹・大井隆夫¹・野村雅夫²・本多照幸³・廣瀬勝巳⁴

9月19日 C会場 (12号館 2F1222 講義室)

セッション 19: 水圏環境地球化学 (コンピーナー: 高橋嘉夫・福士圭介・松尾基之)

09:00-09:15 3C01 (19-01)

岩石の風化生成物に基づく六甲山系河川水の水質形成過程について (神戸大) 木村康子・寺門靖高

09:15-09:30 3C02 (19-02)

武庫川及び周辺河川水中の主成分及び希土類元素の変動 (神戸大) 久保薫・寺門靖高

09:30-09:45 3C03 (19-03)

立山カルデラ内地表水の地球化学的特徴と山地崩壊との関連 (¹富山大・²立山カルデラ砂防博物館) 佐藤有紀¹・米谷正広²・佐竹洋¹

09:45-10:00 3C04 (19-04)

沖縄島南部地域における地下水の地球化学的特性 (¹富山大・²琉球大) 飯野倫裕¹・渡久山久美²・渡久山章²・佐竹洋¹

10:00-10:15 3C05 (19-05)

Hydrochemistry and isotope composition of springs in Rishiri volcano island, Japan. (富山大) A. K. Mandal・張勁

10:15-10:30 3C06 (19-06)

干潟底質中の元素垂直分布への主成分分析の適応による環境変動の評価法の検討 (東大) 諸町大地・松尾基之

10:30-10:45 3C07 (19-07)

北海道における地下水の酸化還元状態 - 幌延町下沼地区 - ((財)北海道科学技術総合振興センター) 井岡聖一郎・酒井利彰・石島洋二

10:55-11:15 3C08 (19-08 招待)

無機陰イオンの環境地球化学 (¹北大・²金沢大) 佐藤努¹・福士圭介²・米田哲朗¹

11:15-11:30 3C09 (19-09)

アンチモン同位体比に基づくヒ素汚染の起源解明に向けた基礎的研究 (¹広大・²JAMSTEC) 荒木祐介¹・谷水雅治²・高橋嘉夫¹

11:30-11:45 3C10 (19-10)

秋田県渋黒沢-玉川水系における強酸性温泉水由来の元素の地球化学的挙動 (¹慶大・²秋田大・³東北大) 星野友則¹・鹿園直建¹・石山大三²・小川泰正³

11:45-12:00 3C11 (19-11)

塩素同位体からみた富山降水中の塩素の挙動(2)塩素過剰の場合 (¹富山大・²SUMCO) 佐竹洋・呉佳紅

9月19日 D会場 (12号館 1F1213 講義室)

セッション 06: コア-マントル間の物質相互作用 (コンピーナー: 平田岳史・河合研志・小木曾哲)

09:00-09:20 3D01 (06-01 招待)

マントル深部の構造と対流 (九大) 金嶋聡

09:20-09:35 3D02 (06-02)

波形インバージョンによるD"層内部の構造推定 (東工大) 河合研志

09:35-09:55 3D03 (06-03 招待)

マントル・外核・内核間の熱的相互作用: 室内実験からの示唆 (金沢大) 隅田育郎

09:55-10:10 3D04 (06-04)

地球試料と隕石試料中のタングステン同位体分別 (¹原研・²東工大・³海洋) 入澤啓太¹・深海雄介²・谷水雅治³・平田岳史¹

10:10-10:25 3D05 (06-05)

マントル中の白金族鉱物の産状:流体と軽元素の役割 (¹京大・²JAMSTEC・³Spring-8) 小木曾哲¹・鈴木勝彦²・鈴木敏弘²・上杉健太郎³

10:25-10:40 3D06 (06-06 招待)

Pt-Re-Os 同位体系でコア-マントル相互作用を見ることができるか? (JAMSTEC) 鈴木勝彦

10:40-11:00 3D07 (06-07 招待)

コア-マントル境界域における元素移動の解明に向けて (東工大) 廣瀬敬・小澤春香・館野繁彦

セッション 15: 海洋における微量元素・同位体の分布と循環 (コンピーナー: 小畑元・天川裕史・乙坂重嘉・熊本雄一郎)

11:10-11:25 3D08 (15-01)

太平洋南北縦断測線における溶存バリウムの分布: GEOSECS データとの比較 (¹東海大・²グローバルオーシャンディベロップメント) 中村智巳¹・加藤義久¹・副島広道²

11:25-11:40 3D09 (15-02)

南太平洋表層におけるネオジムの供給源の解明 (日大) 佐藤広美・田副博文・永井尚生

11:40-11:55 3D10 (15-03)

日本海深層における鉄の除去 (¹東大・²滋賀県立大・³高知女子大) 小畑元¹・丸尾雅啓²・一色健司³

9月19日 E会場 (12号館 1F1214 講義室)

セッション 12: 堆積物、堆積岩の地球化学 (コンピーナー: 山本鋼志・杉谷健一郎・三村耕一・加藤泰浩・丸岡照幸)

09:00-09:15 3E01 (12-12)

オホーツク海表層堆積物における有機物の起源推定 (¹北大・²環境研・³東海大・⁴JAMSTEC) 三上裕¹・関宰¹・長尾誠也¹・福島正巳¹・荒巻能史²・内田昌男²・柴田康行²・南秀樹³・加藤義久³・坂本竜彦⁴・中塚武¹

09:15-09:30 3E02 (12-13)

古代ヤシおよびベネチテス化石の抵抗性高分子分析からの化学分類および続成変化の検討 (北大) 中村英人・沢田健

09:30-09:45 3E03 (12-14)

地質調査所堆積岩標準試料の希土類元素組成 (名大) 山本鋼志・足立守

09:45-10:00 3E04 (12-15)

九州北部・中部地域の Sr 同位体比分布 (名大) 後藤晶子・南雅代・浅原良浩

10:00-10:20 3E05 (12-16 招待)

堆積物中のヒ素の化学状態および水 堆積物間の分配係数に基づくバングラデシュ中東部シヨナルガオ地域におけるヒ素汚染地下水の分布の解釈 (¹広大・²大阪市大・³筑波大・⁴ダッカ大) 板井啓明¹・高橋嘉夫¹・益田晴恵²・三田村宗樹²・丸岡照幸³・Ashraf Ali Seddique²・Kazi Matin Ahmed⁴

セッション 13: 同位体で見る地球表層環境変動 (コンピーナー: 鈴木勝彦・黒田潤一郎・西澤学・山口耕生)

10:30-10:50 3E06 (13-01 招待)

マントルの進化とプレート・スーパーブルームのダイナミクス (東大) 小河正基

10:50-11:10 3E07 (13-02 招待)

38~30億年前の海洋性堆積岩に記録された初期生物圏発達史: 微少領域安定同位体分析による制約 (東北大) 掛川武

11:10-11:30 3E08 (13-03 招待)

二酸化硫黄の光解離と太古代原生代境界の硫黄同位体異常 (¹東工大・²コペンハーゲン大) 上野雄一郎¹・ダニエラチェセバスチャン¹・吉田尚弘¹・ジョンソンマシュー²

11:30-11:45 3E09 (13-04)

南中国、エディアカラ紀炭酸塩岩の高解像度炭素・酸素同位体化学層序 (東工大) 田畑美幸・上野雄一郎・石川智子・澤木佑介・小宮剛・吉田尚弘・丸山茂徳

11:45-12:00 3E10 (13-05)

南中国三峡地域の地層に保存された Sr 同位体比変動から読みとるエディアカラ紀の表層環境変動 (東工大) 澤木佑介・田畑美幸・小宮剛・丸山茂徳・平田岳史

9月19日 F会場 (12号館 1F1212 講義室)

セッション 11: 古気候・古環境解析の地球化学 (コンピーナー: 中塚武・原田尚美・入野智久・渡邊剛)

09:00-09:20 3F01 (11-01 招待)

淡水流入に伴う海洋炭素循環の応答 (¹JAMSTEC・²東大・³ミネソタ大・⁴ブリストル大) 近本めぐみ¹・阿部彩子²・松本克美³・リッジウェールアンディ⁴

09:20-09:40 3F02 (11-02 招待)

南西諸島の造礁サンゴ年輪を用いた過去 100 年間の海洋環境復元 (¹名大・²日産自動車(株)³・岐阜大) 阿部理¹・小林文恵²・森本真紀¹・勝田長貴³・森本昭彦¹

09:40-09:55 3F03 (11-03)

ベリング海東部陸棚域における円石藻 *Emiliania huxleyi* ブルーム - 過去 50 年の記録 - (¹JAMSTEC・²(株)マリン・ワーク・ジャパン・³北大・⁴釜山大・⁵Hanyang Univ.・⁶東海大) 原田尚美¹・佐藤都¹・長島佳菜¹・岡崎裕典¹・小栗一将¹・多田井修²・齋藤誠³・香月興太⁴・Shin Kyung Hoon⁵・成田尚史⁶

09:55-10:10 3F04 (11-04)

ベリング海陸棚堆積物の粒度・ESR 分析に基づく過去 80 年間の環境変動復元 (¹JAMSTEC・²名大・³(株)マリン・ワーク・ジャパン・⁴岡大・⁵東大) 長島佳菜¹・浅原良浩²・竹内ふみ²・原田尚美¹・小栗一将¹・多田井修³・豊田新⁴・Rella Stephan⁵・多田隆治⁵

10:10-10:25 3F05 (11-05)

サンゴ骨格に記録された窒素同位体比の季節変動: 低緯度海洋表層における栄養塩指標としての可能性 (¹北大・²JAMSTEC・³東大) 山崎敦子¹・渡邊剛¹・川島龍憲¹・小川奈々子²・大河内直彦²・白井厚太郎³・佐野有司³・植松光夫³

10:25-10:40 3F06 (11-06)

メコンデルタ沖・コンダオ島におけるサンゴ年輪の Sr/Ca および Mg/Ca の記録: ENSO および東アジアモンスーンの監視手段としての評価 (¹名大・²ベトナム科学技術アカデミー・³名古屋工大・⁴環境研) 三ツ口丈裕¹・ダンフォン²・北川浩之¹・内田哲男³・柴田康行⁴

10:50-11:05 3F07 (11-07)

軟エックス線写真・非破壊蛍光 X 線地殻コアロガー (TATSCAN) を利用した迅速なサンゴ骨格の成長量・化学組成変動分析による古環境解析手法の開発 (¹北大・²JAMSTEC・³フィリピン鉱山地質局・⁴国立科学博物館) 岨康輝¹・渡邊剛¹・坂本竜彦²・飯島耕一²・高沢昌芳¹・入野智久¹・アギラルヨランダ³・加瀬友喜⁴

11:05-11:20 3F08 (11-08)

鍾乳石中の微量成分を用いた秋吉台の植生変遷の復元 (¹九大・²秋吉台科学博物館・³九環協) 富田麻井¹・栗崎弘輔¹・藤川将之²・天日美薫³・吉村和久¹

11:20-11:35 3F09 (11-09)

小氷期における樹木年輪セルロースの ¹⁸O 変動パターンと、太陽活動との関連性 (¹東大・²JAMSTEC・³北大) 山口保彦¹・横山祐典^{1,2}・宮原ひろ子¹・中塚武³

11:35-11:50 3F10 (11-10)

硬骨海綿骨格内に保存された微量元素濃度変動を用いた古環境復元への可能性 (¹北大・²東大) 大森一人¹・渡邊剛¹・白井厚太郎²

9月19日 A会場 (13号館 2F1323 講義室)

セッション 09: 島弧・海嶺衝突帯の火成作用とテクトニクス (コンピーナー: 安間了・折橋裕二・新正裕尚・平田大二・黒澤正紀)

13:00-13:15 3A12 (09-01)

西南日本弧海溝寄り地域に分布する、中新世玄武岩質岩の微量元素・Sr-Nd-Pb 同位体組成 (¹東経大・²京大・³東大・⁴産総研) 新正裕尚¹・柴田知之²・芳川雅子²・折橋裕二³・角井朝昭⁴

13:15-13:30 3A13 (09-02)

西南日本前弧域での初期-中期中新世火成活動の時空分布 (¹産総研・²東経大) 角井朝昭¹・新正裕尚²

13:30-13:50 3A14 (09-03 招待)

Slab dehydration and melting of the Philippine Sea Plate by progressive subduction beneath the SW Japan arc over the past 15 million years (JAMSTEC) 木村純一

13:50-14:10 3A15 (09-04 招待)

東北日本、伊豆 小笠原弧の島弧火山活動の時空間変化から推定したマンテルウエッジのダイナミクス (¹東大・²東北大・³JAMSTEC) 本多了¹・吉田武義²・青池寛³

14:10-14:25 3A16 (09-05)

南部チリ・パタゴニア地方、第四紀ハドソン火山におけるマグマティズムの変遷 (1 東大・2 東経大・3 チリ鉱山局・4 リオデジャネイロ州立大・5 チリ・パタゴニア研究グループ) 折橋裕二¹・中井俊一¹・新正裕尚²・ナランホホセ³・元木昭寿⁴・クリスマシーグループ⁵

14:25-14:40 3A17 (09-06 招待)

中央海嶺沈み込み起源の花崗岩から得られたジルコンの Hf 同位体比 (1 東工大・2 筑波大) 昆慶明¹・平田岳史¹・小宮剛¹・安間了²・丸山茂徳¹

14:40-14:55 3A18 (09-07)

チリ海嶺沈み込み帯にみられるオフィオライトと珪長質深成岩類 (1 筑波大・2 東工大・3 JAMSTEC・4 岡大・5 東大・6 オーストラリア国立大) 安間了¹・小宮剛²・昆慶明²・渋谷岳造³・太田努⁴・折橋裕二⁵・Armstrong Richard⁶

15:05-15:20 3A19 (09-08)

オマーンオフィオライト衝上に伴う初期島弧火成活動によって形成された超塩基性岩類 (新潟大) 山崎秀策・宮下純夫

15:20-15:40 3A20 (09-09 招待)

Supra-subduction zone ophiolite または forearc ophiolite の実体: 嶺岡帯および伊豆島弧からの制約 (1 筑波大・2 金沢大・3 三菱商事) 小川勇二郎¹・黒澤正紀¹・平野直人²・森良太³

15:40-15:55 3A21 (09-10)

堆積年代によるメランジュの間欠的底付け付加の証拠 - 西南日本四万十帯への LA-ICPMS ジルコン年代測定の適用 - (1 高知大・2 東大) 柴田伊廣¹・折橋裕二²・木村学²・橋本善孝¹

15:55-16:10 3A22 (09-11)

西彼杵変成岩類のヒスイ輝石岩に含まれるジルコンの包有鉱物、U-Pb 年代、微量元素組成: TTG 質マグマの痕跡? (1 北九州市立自然史・歴史博物館・2 東大・3 九大・4 熊本大) 森康¹・折橋裕二²・宮本知治³・島田和彦³・重野未来¹・西山忠男⁴

16:10-16:25 3A23 (09-12)

花崗岩質プルトンの同化作用と汚染作用に関する鉱物組成と化学組成 (鹿児島大) 山本温彦

16:25-16:40 3A24 (09-13 招待)

Zircon U-Pb ages from Cretaceous to Paleogene granitic rocks, South Korea - SW Japan: Constraints on the spatiotemporal evolution of the granitic magmatism (1 東大・2 慶尚大・3 延世大) パクテホ¹・岩森光¹・折橋裕二¹・左容周²・權盛澤³

16:40-17:00 3A25 (09-14 招待)

西南日本の白亜紀花崗岩類の成因と起源物質: われわれはどこまで理解しているか (産総研) 中島隆

9月19日 B会場 (12号館 2F1225 講義室)

セッション 17: 地球大気化学: ガス・エアロゾル (コンピーナー: 谷本浩志・遠嶋康徳・柳澤文孝・河村公隆)

13:00-13:15 3B12 (17-07)

大気中の CO₂ 濃度の測定と解析 (私立武蔵高専・CO₂ 計測プロジェクト) 高江洲瑩・浜野智広・榎野正・有瀬忠紀・原久雄

13:15-13:30 3B13 (17-08)

中国泰山における有機エアロゾルの組成と変動 (1 北大・2 JAMSTEC・3 中国科学院大) 河村公隆¹・フーピンチン¹・立花英里¹・奥沢和浩¹・アーガワルジャンカル¹・金谷有剛²・ワンジーファ³

13:30-13:45 3B14 (17-09)

放射性炭素同位体を用いた大気エアロゾル中ブラックカーボンの起源推定 ~ 熱分離による前処理法の開発 (環境研) 和穎朗太・内田昌男・鈴木優徳・長谷川就一・小林伸治・田邊潔・柴田康行

13:45-14:00 3B15 (17-10)

1998-2006 年の脊振山頂に降下した風送塵の Sr・Nd 同位体組成 (九大) 宮本知治・浜本礼子・柳哮

セッション 26: 加速器質量分析が拓く地球環境学・年代学・考古化学 (コンピーナー: 南雅代・北川浩之・横山祐典・松崎浩之)

14:10-14:25 3B16 (26-01)

日本産樹木年輪試料の炭素 14 年代測定 (1 国立歴史民俗博物館・2 東大・3 名大・4 (株)パレオ・ラボ・5 奈良文化財研究所) 尾寄大真¹・坂本稔¹・今村峯雄¹・松崎浩之²・中村俊夫³・小林紘一⁴・伊藤茂⁴・丹生越子⁴・光谷拓実⁵

14:25-14:40 3B17 (26-02)

鎌倉由比ヶ浜地域の遺跡から出土した中世人骨の ¹⁴C 年代 (名大) 南雅代・中村俊夫

14:40-14:55 3B18 (26-03)

西南極氷床変動史の復元に向けた化合物レベル放射性炭素年代測定法の開発 (1 東大・2 JAMSTEC・3 ライス大) 小泉真認¹・横山祐典¹・大河内直彦²・John B Anderson³

14:55-15:15 3B19 (26-04 招待)

弘安の役の元寇船建造地と岐阜県恵那市上矢作町「海」の河道閉塞を起こした天正地震の岩石なだれ AMS 炭素 14 年代測定 (名大) 鈴木和博

15:25-15:40 3B20 (26-05)

宇宙線照射生成核種を用いた南米、チリ・アタカマ砂漠における地表面浸食速度の定量 (1 東大・2 北カトリック大) 城谷和代¹・横山祐典¹・松崎浩之¹・アンドレスヴェロソ²

15:40-15:55 3B21 (26-06)

表面照射年代から明らかになった南極氷床の最終退水の時期 (1 東大・2 極地研・3 広大) 山根雅子¹・横山祐典¹・三浦英樹²・前李英明³・岩崎正吾³・松崎浩之¹

15:55-16:10 3B22 (26-07)

53 個の南極 Yamato 隕石中 ²⁶Al 含有量 (¹立正大・²東大・³極地研) 楠野葉瑠香¹・福岡孝昭¹・松崎浩之²・小島秀康³
16:10-16:25 3B23 (26-08)
水月湖堆積物の Be-10 を用いた Laschamp 地磁気エクスカージョンの検出 (東大) 横山祐典・池田悟・松崎浩之

9月19日 C会場 (12号館 2F1222 講義室)

セッション 19: 水圏環境地球化学 (コンピーナー: 高橋嘉夫・福土圭介・松尾基之)

13:00-13:15 3C12 (19-12)

西表島の小流域河川(野崎川)の水質形成への人為的影響 (¹九大・²CRC 食品環境衛生研究所・³九電産業・⁴琉球大・⁵鹿児島大・⁶総合地球環境学研究所) 江里口和隆¹・高嶋温子²・栗崎弘輔¹・能登征美³・廣瀬孝⁴・井倉洋二⁵・高相徳志郎⁶・吉村和久¹

13:15-13:30 3C13 (19-13)

土壌の酸中和能へ影響を与える交換性 Ca イオンの化学形態 (東大) 山ノ井俊・小豆川勝見・松尾基之

13:30-13:45 3C14 (19-14)

土壌環境での pH におけるケイ酸溶液中のアルミニウム化学種のスペシエーション (九大) 齊藤智之・岡上吉広・横山拓史

13:45-14:00 3C15 (19-15)

ヒ素の拡散係数に対するイオンの形状変化の影響 (広大) 坂光美香・高橋嘉夫

14:00-14:15 3C16 (19-16)

カルサイトへの亜ヒ酸とヒ酸の分配挙動の比較 (¹広大・²原研) 横山由佳¹・光延聖¹・田中万也²・高橋嘉夫¹

14:15-14:30 3C17 (19-17)

カルサイト及びアラゴナイトと水溶液間の希土類元素分配に関する実験的研究 (神戸大) 傳磊・寺門靖高

14:30-14:45 3C18 (19-18)

腐植物質-水酸化鉄共存系における希土類元素の固液分配 (広大) 山本祐平・高橋嘉夫・清水洋

14:55-15:10 3C19 (19-19)

EXAFS 法によるバクテリア細胞壁への重希土類元素の濃集機構の解明 (広大) 山本美香・平田多恵子・高橋嘉夫

15:10-15:25 3C21 (19-21)

固液相間におけるホウ素同位体分別: 水や圧力の影響について (¹東大・²上智大・³東工大) 武蔵正明¹・大井隆夫²・松尾基之¹・野村雅夫³

15:25-15:40 3C22 (19-22)

固液界面でのセレンとテルルの表面錯体: オキソアニオンの水溶解性や生物利用性との関係 (広大) 高橋嘉夫・原田哲平

15:40-15:55 3C23 (19-23)

減衰全反射赤外 (ATR-IR) 分光法を用いたアミノ酸の鉱物への吸着形態の解析 (阪大) 北台紀夫・横山正・中嶋悟

15:55-16:10 3C24 (19-24)

水-フェリハイドライト界面における吸着硫酸イオンの表面化学種分布 (金沢大) 福土圭介・青山和樹・永田貴洋

16:10-16:25 3C25 (19-25)

表面錯体モデリングによる酸化物への I⁻ 吸着の予測 (¹金沢大・²広大) 永田貴洋¹・福土圭介¹・高橋嘉夫²

9月19日 D会場 (12号館 1F1213 講義室)

セッション 15: 海洋における微量元素・同位体の分布と循環 (コンピーナー: 小畑元・天川裕史・乙坂重嘉・熊本雄一郎)

13:00-13:20 3D11 (15-04 招待)

海洋大循環モデルによる希土類元素濃度分布の再現 (¹東大・²北大) 岡頭¹・羽角博康¹・小畑元¹・蒲生俊敬¹・山中康裕²

13:20-13:35 3D12 (15-05)

日本海東部における沈降粒子の元素組成の経年変化 (¹原研・²北大・³東海大・⁴中央水研) 乙坂重嘉¹・奥俊輔²・南秀樹³・皆川昌幸⁴・乗木新一郎²

13:35-13:50 3D13 (15-06)

西部太平洋における Cs-137 のインベントリー (放医研) 山田正俊・王中良・鄭建

13:50-14:05 3D14 (15-07)

南北太平洋亜熱帯域における溶存無機炭素の炭素安定同位体比 (JAMSTEC) 熊本雄一郎・村田昌彦・渡邊修一・深澤理郎

セッション 01: 地球外物質の宇宙化学: 先太陽系史から初期太陽系史 (コンピーナー: 伊藤正一・冨本久義・橋省吾・日高洋)

14:15-14:35 3D15 (01-01 招待)

星形成コアの分子組成進化: 星なしコアから原始星コアまで (神戸大) 相川祐理

14:35-14:50 3D16 (01-02)

極低温表面原子反応による水分子生成 (北大) 大場康弘・宮内直弥・千貝健・日高宏・渡部直樹・香内晃

14:50-15:05 3D17 (01-03)

同位体イメージング法により探るマーチソン隕石有機物中の酸素同位体組成 (¹阪大・²東大・³九大) 橋爪光¹・高畑直人²・佐野有司²・奈良岡浩³

15:05-15:20 3D18 (01-04)

L4 Saratov 隕石中に存在するグラファイト様物質のラマン研究 (¹阪大・²東京医科歯科大・³ワシントン大・⁴阪大) 森下和彦¹・奈良雅之²・甘利幸子³・松田准一⁴

15:20-15:35 3D19 (01-05)

鉄隕石中の schreibersite における希ガス同位体比分析 (¹阪大・²ウィーン大) 白石智一¹・松田准一¹・Gero Kurat²

15:45-16:00 3D20 (01-06)

プレソーラー SiC 粒子を取り囲む硫化物の硫黄同位体組成 (北大) 江端新吾・坂本直哉・冨本尚義

16:00-16:20 3D21 (01-07 招待)

FUN CAI の酸素同位体組成 (ハワイ大) 永島一秀

16:20-16:35 3D22 (01-08)

初期太陽系における酸素同位体リザーバ変動のタイミング (北大) 伊藤正一・冨本尚義

16:35-16:50 3D23 (01-09)

太陽大気元素存在度は太陽系元素存在度と等しいか? (北大) 冨本尚義・藤本久美子・江端新吾・伊藤正一

9月19日 E会場 (12号館 1F1214 講義室)

セッション 13: 同位体で見る地球表層環境変動 (コンピーナー: 鈴木勝彦・黒田潤一郎・西澤学・山口耕生)

13:00-13:15 3E11 (13-06)

カナダ・原生代初期ヒューロニアン累層群における氷河性堆積物層のオスミウム同位体変動: 酸素増大イベントと気候変動の因果関係に与える示唆 (¹東大・²JAMSTEC・³東北大) 関根康人¹・鈴木勝彦²・仙田量子²・田近英一¹・多田隆治¹・後藤和久³・山本信治¹・大河内直彦²・小川奈々子²

13:15-13:30 3E12 (13-07)

初期原生代「大気中酸度濃度急上昇イベント」の玄武岩に発達したラテライトの成因: 鉄と酸素の同位体からの制約 (¹JAMSTEC・²NASA・³ウィスコンシン大・⁴ヨハネスバーグ大・⁵ペン州大) 山口耕生^{1,2}・J. Valley^{2,3}・C. Johnson^{2,3}・B. Beard^{2,3}・J. Gutzmer^{2,4}・N.J. Beukes^{2,4}・H. Ohmoto^{2,5}

13:30-13:45 3E13 (13-08)

SO₂の紫外吸収スペクトルと分解時の同位体分別異常との関係 (¹九大・²ネバダ大・³岡大) 奈良岡浩¹・ポールソンサイモン²・千葉仁³

13:45-14:00 3E14 (13-09)

四種硫黄同位体分析による~29億年前の硫黄循環の推定 (東工大) 鶴岡昂・上野雄一郎・小宮剛・西澤学・丸山茂徳・吉田尚弘

14:00-14:15 3E15 (13-10)

川砂ジルコンから読み取る花崗岩質地殻のハフニウム同位体組成進化と大陸成長 (¹東大・²東工大) 飯塚毅¹・小宮剛²・李野修士²・丸山茂徳²・平田岳史²

14:15-14:30 3E16 (13-11)

後期太古代における生命の多様性: 炭素同位体分析による証拠 (東工大) 吉屋一美・櫻井隆介・西澤学・上野雄一郎・小宮剛・丸山茂徳

14:40-14:55 3E17 (13-12)

原生代初期の微生物シングルセル同位体組成と生元素分布 (¹東工大・²東大) 西澤学¹・高畑直人²・佐野有司²・上野雄一郎¹・丸山茂徳¹

14:55-15:10 3E18 (13-13)

アルタイ炭酸塩岩にみるペント紀初期の海洋環境の変動 (国立成功大¹・国立科学博物館²・東大³・東工大⁴) 能田成¹・王博賢¹・Chen Feng You¹・内尾優子²・磯崎行雄³・丸山茂徳⁴

15:10-15:25 3E19 (13-14)

Secular change in the Os isotope composition of Early Cretaceous seawater: an indicator of a LIP-OAE link (¹JAMSTEC・²ウルピノ大³ハワイ大) 鈴木勝彦¹・Tejada M. L. G¹・黒田潤一郎¹・Coccioni R²・大河内直彦¹・坂本竜彦

¹・巽好幸¹・Mahoney John³

15:25-15:40 3E20 (13-15)

オントンジャワ海台火山活動と白亜紀の海洋環境変動 (¹JAMSTEC・²愛媛大) 黒田潤一郎¹・谷水雅治¹・堀利栄²・鈴木勝彦¹・小川奈々子¹・大河内直彦¹

15:40-15:55 3E21 (13-16)

結晶水和物における結晶水の同位体組成 (¹学習院大・²東工大) 垣内正久¹・山村洋平¹・野村雅夫²

15:55-16:15 3E22 (13-17)

石筍を用いた植生に関する古環境情報の抽出 (¹九大・²秋吉台科学博物館・³九電産業) 中尾武史¹・栗崎弘輔¹・藤川将之²・能登征美³・吉村和久¹

16:10-16:25 3E23 (13-18)

鉛同位体を用いた西部北太平洋における沈降粒子中の鉛の起源 (北大) 永岡大輔・重光雅仁・渡辺豊・乗木新一郎

9月19日 F会場 (12号館 1F1212 講義室)

セッション 11: 古気候・古環境解析の地球化学 (コンピーナー: 中塚武・原田尚美・入野智久・渡邊剛)

13:00-13:15 3F11 (11-11)

カタクチワシ・マイワシの堆積魚鱗アバダンス変動と回遊海域 (¹愛媛大・²東海大) 加三千宣¹・武岡英隆¹・杉本隆成²

13:15-13:30 3F12 (11-12)

TEX₈₆による別府湾における過去1500年間の古水温復元 (¹北大・²愛媛大・³東海大) 市川記央¹・山本正伸¹・沖野龍文¹・加三千宣²・杉本隆成³・武岡英隆²

13:30-13:45 3F13 (11-13)

東シナ海北部の完新世水温変動 (¹北大・²産総研・³東大) 中西貴大¹・山本正伸¹・沖野龍文¹・入野智久¹・小田啓邦²・横山祐典³・松崎浩之³・多田隆治³

13:45-14:00 3F15 (11-15)

北アイルランド、Fallahogy 湿原における泥炭層の炭素同位体比変動の検討 (¹九大・²環境研・Göteborg Univ.³) 大木誠吾¹・赤木右¹・北島富美雄¹・奈良岡浩¹・倉富伸一¹・加藤和浩²・Lars G. Franzén³

14:00-14:15 3F16 (11-16)

最終氷期以降のオホーツク海におけるベンチレーション変化 (JAMSTEC) 岡崎裕典・原田尚美・熊本雄一郎・中村由里子・佐藤都

14:15-14:30 3F17 (11-17)

二枚貝化石殻の酸素同位体比に基づく最終氷期最盛期の日本海表層水温季節変動幅の復元 (¹北大・²静大・³産総研) 多田圭吾¹・入野智久¹・北村晃寿²・池原研³

14:30-14:45 3F18 (11-18)

日本海秋田沖から得た海底堆積物中の同位体記録に基づく過去5万年にわたる水文環境復元の試み (¹JAMSTEC・²東大) 菅寿美¹・横山祐典²・小川奈々子¹・北里洋¹・大河内直彦¹

14:45-15:00 3F19 (11-19)

日本海堆積物コアの中性子放射化分析による第四紀後期のアルカリ岩質テフラ層序の構築 (¹北大・²産総研) 任忠完¹・池原研²・豊田和弘¹

15:10-15:25 3F20 (11-20)

後期更新世における西北極海メンデレーフ海嶺への陸起源有機物流入 (¹北大・²オハイオ州立大) 山本正伸¹・ポリアクレオニド²

15:25-15:40 3F21 (11-21)

TEX₈₆による過去15万年間の南部南シナ海古水温復元 (¹北大・²台湾海洋大) 齋博貴¹・山本正伸¹・沖野龍文¹・陳明德²

15:40-15:55 3F22 (11-22)

南極・グリーンランド氷床コアから復元した氷期・間氷期における水溶性エアロゾル (¹北大・²気象研究所・³University of Copenhagen) 櫻井俊光¹・大野浩¹・飯塚芳徳¹・堀川信一郎¹・青木輝夫²・Johnsen Sigfus³・Dahl-Jensen Dorthe³・Steffensen J.P.³・本堂武夫¹

15:55-16:10 3F23 (11-23)

北太平洋深海底堆積物中の鉄マンガン水酸化物のNd同位体比の時代変化と深層水循環の復元 (名大) 後藤久範・浅原良浩・山本鋼志

16:10-16:25 3F24 (11-24)

鮮新世のエルニーニョ:化石サンゴ年輪に記録される大気海洋の数年変動 (¹北大・²産総研・³千葉大・⁴フィリピン鉱山地質局・⁵横国大・⁶東大・⁷国立科学博物館) 渡邊剛¹・鈴木淳²・川島龍憲¹・見延庄士郎¹・亀尾浩司³・蓑島佳代²・アギューヨランダ⁴・和仁良二⁵・川幡穂高⁶・加瀬友喜⁷

16:25-16:40 3F25 (11-25)

アルケノン安定炭素同位体比による中新世後期および鮮新世の大気CO₂濃度変動の復元 (¹北大・²プリストル大) 関宰¹・ダニエルシュミット²・河村公隆¹・パンコストリチャード²

16:40-16:55 3F26 (11-26)

後期中新世(11-10Ma)の木材化石の年輪セルロースの¹⁸Oと¹³C:高時間分解能の気候変動解析の可能性 (¹北大・²大阪市立自然史博物館) 中塚武¹・大西啓子¹・沢田健¹・中村英人¹・塚腰実²

ポスター発表 9月17日 ポスター会場

1P01 (05-P01)

中国・南アフリカ産キンバーライトとその構成鉱物の化学分析 (1 学習院大・2 京大・3 東大) 遠山知亜紀¹・村松康行¹・山本順司²・中井俊一³・兼岡一郎³

1P02 (05-P02)

瀬戸内火山帯の高 Mg 安山岩と玄武岩の Os 同位体比:スラブからのリサイクル vs 地殻の同化作用 (JAMSTEC) 鈴木勝彦・仙田量子・清水健二・巽好幸

1P03 (05-P03)

シベリア産ダイヤモンドの希ガス同位体組成 (1 東大・2 ノボシビルスク岩石鉱物研究所) 田子修也¹・角野浩史¹・松藤京介¹・Zedgenizov Dmitry²・鍵裕之¹・長尾敬介¹

1P04 (07-P01)

フォルステライト多結晶体への希ガスの拡散と固溶限界 (1 東大・2 物材機構・3 宇部マテリアルズ) 小泉早苗¹・角野浩史¹・平賀岳彦¹・賞雅朝子¹・大橋直樹²・佐野聡³・長尾敬介¹・野津憲治¹

1P05 (07-P02)

海洋プレートの構成物質とスラブ流体の推定 (1 産総研・2 東大・3 JAMSTEC) 中村仁美¹・岩森光²・木村純一³

1P06 (10-P01)

IODP Exp316 (NanTroSEIZE) における巨大分岐断層コア試料の微量元素および Sr, Pb 同位体組成 (1 JAMSTEC・2 (株) マリン・ワーク・ジャパン・3 阪大・4 神戸大・5 IODP) 石川剛志¹・谷水雅治¹・永石一弥²・松岡淳²・廣野哲朗³・三島稔明⁴・氏家恒太郎¹・IODP Expedition 315, 316 乗船研究者一同⁵

1P07 (10-P02)

静岡県春野町地殻歪観測井における地球化学観測 (名大) 宮川和也・川邊岩夫・山内常生・飯屋新一・伊藤武男

1P08 (104-P01)

二酸化炭素の地中貯留を想定した水 花崗岩反応実験 (慶大) 伊藤香紫美・鹿園直建

1P09 (14-P01)

鹿児島湾若尊火口熱水域における堆積物中の熱水変質反応 (1 九大・2 東大・3 岡大) 三好陽子¹・石橋純一郎¹・松倉誠也¹・中島美和子¹・大村亜希子²・前藤晃太郎³・山中寿朗³・千葉仁³

1P10 (14-P02)

鹿児島湾岸の温泉におけるホウ素の挙動 (九大) 平尾真吾・石橋純一郎

1P11 (14-P03)

鳩間海丘において世界で初めて観測された「青い熱水」の形成メカニズム (1 琉球大・2 九大・3 JAMSTEC) 岩田大吾¹・土岐知弘¹・大森保¹・石橋純一郎²・高井研³

1P12 (14-P04)

鹿児島湾若尊火口熱水域における堆積物の間隙水化学組成 (1 岡大・2 九大・3 東大・4 高知大) 前藤晃太郎¹・山中寿朗¹・石橋純一郎²・三好陽子²・松倉誠也²・大村亜希子³・横山未来¹・岡村慶⁴・杉山拓⁴・千葉仁¹

1P13 (14-P05)

水質センサを搭載した AUV による沿岸海域の環境マッピング (1 電中研・2 (株) セレス) 宮川公雄¹・下島公紀¹・前田義明²

1P14 (14-P06)

鳥根県三瓶温泉のマンガン沈殿物生成過程における微生物の関与 (九大) 阪本篤史・石橋純一郎・上島佳貴・笹木圭子

1P15 (18-P01)

イネ (*Oryza sativa* var. *japonica*) 中の希土類元素濃度 (1 日本女子大・2 九大) 宮崎あかね¹・岩永百合¹・篠崎潤緑¹・中村歩¹・米津幸太郎²・横山拓史²

1P16 (18-P02)

東シベリアタイガ林の炭素固定量の年々変動を決めている要因について (1 北大・2 ロシア科学アカデミー) 鄭峻介¹・杉本敦子¹・T.C.Maximov²

1P17 (18-P03)

カラマツの窒素・炭素安定同位体比を用いたモンゴル森林・草原境界の環境指標 (1 北大・2 筑波大) 内埜裕子¹・佐藤勇一¹・辻村真貴²・石川守¹・杉本敦子¹

1P18 (18-P04)

下水高度処理過程における溶存態メタンの安定同位体を用いた解析 (1 東工大・2 東京都) 服部祥平¹・山田珪大¹・豊田栄¹・鈴木有理¹・藤井彩子¹・吉田尚弘¹・河野里名²・村山康樹²

1P19 (18-P05)

- 温暖湿潤気候下における森林土壌化学組成プロファイル (名大) 上野振一郎・杉谷健一郎・山本剛志
- 1P20 (18-P06)
酸性雨被害が見られる地域における土壌の元素分布と酸中和能との関連性 (東大) 高橋麻子・小豆川勝見・松尾基之
- 1P21 (18-P07)
チャオブラヤデルタの酸性硫酸塩土壌地域における硫黄の動態 (1 日大・2 ASS Improvement Project, Thailand) 石谷貫悟¹・上田真吾¹・高春心¹・片瀬隆雄¹・姜東鎮¹・長坂貞郎¹・Pisoot Vijarnsorn²
- 1P22 (18-P08)
火山性湧水によってもたらされる長野県梓川の顕著な水質変化 (農工大) 柴田梓・木庭啓介・楊宗興
- 1P23 (18-P09)
放射性炭素同位体を用いた温度条件と土壌炭素分解の関係の評価～鉱物粒子による分解抑制反応の温度依存性 (1 環境研・2 京大) 和穎朗太¹・内田昌男¹・北山兼弘²
- 1P24 (20-P01)
gem-アルカンの起源と汚染有機化合物 (東大) 荻原成騎
- 1P25 (20-P02)
仁賀保堆積岩及び相馬沖堆積岩中の結合態マレイミド類とフタルイミド類の分析 (1 筑波大・2 福岡工大) 野本光一¹・佐久間理子¹・熊谷現¹・三田肇²・野本信也¹
- 1P26 (20-P03)
クロロフィル由来物質に基づく地層有機物の熟成度指標 (1 筑波大・2 福岡工大) 佐久間理子¹・野本光一¹・熊谷現¹・三田肇²・野本信也¹
- 1P27 (20-P04)
堆積岩のクロム酸化で得られるフタルイミド類の起源物質 (1 筑波大・2 福岡工大・3 東大) 熊谷現¹・佐藤充¹・吉田隆広¹・三田肇²・野本光一¹・柏山祐一郎³・野本信也¹
- 1P28 (20-P05)
海底の同位体トレーサー培養実験からみた古細菌の代謝活性: バイオマーカーの分子レベル安定炭素同位体比 (JAMSTEC) 高野淑識・野牧秀隆・小川奈々子・力石嘉人・稲垣史生・北里洋・大河内直彦
- 1P29 (20-P06)
熟成作用にともなう珪質堆積岩中の炭化水素安定水素同位体比の変化 (1 北大・2 高知大) 菊地徹¹・鈴木徳行¹・齋藤裕之²
- 1P30 (20-P07)
海底堆積物間隙水中の酢酸の炭素安定同位体比 (1 JAMSTEC・2 北大) 井尻暁¹・原田尚美¹・小川奈々子¹・大河内直彦¹・坂本竜彦¹・中塚武²
- 1P31 (20-P08)
好熱好酸性アーキア *Sulfolobus* 増殖時の膜脂質組成への温度変動の影響 (九大) 出水翔・北島富美雄
- 1P32 (20-P09)
海底熱水湧出域における高地温勾配に伴った有機物の熟成度変化 (1 岡大・2 静大・3 九大・4 JAMSTEC) 山中寿朗¹・島村翔¹・井上聡¹・前藤晃太郎¹・木村浩之²・藤野恵子³・木下正高⁴・石橋純一郎³
- 1P33 (21-P01)
アミノ酸重合反応における pH の効果 (阪大) 坂田霞・北台紀夫・田中良典・中嶋悟
- 1P34 (21-P02)
蛇紋岩化反応にともなう水素発生に関する熱水実験システム (1 東工大・2 JAMSTEC・3 東大) 吉崎もと子¹・鈴木勝彦²・中村謙太郎³・山口耕生²・渋谷岳造²・山本伸次¹・大森聡一¹・高井研²・丸山茂徳¹
- 1P35 (23-P01)
天然多結晶ダイヤモンド(カルボナド)の REE パターンおよび包有物の存在状態からみたカルボナドの起源 (東大) 櫻井晴子・鍵裕之・石橋秀巳・吉野徹
- 1P36 (25-P01)
TIMS による微小岩石試料中の塩素同位体分析 (1 海技大・2 岡大・3 NASA) 藤谷達也¹・岡野修²・中村昇³
- 1P37 (25-P02)
環境放射線のエネルギー分析による地質環境連続性の解析—ユーフラテス河流域遺跡の立地調査 (1 名大・2 名城大) 田中剛¹・星野光雄¹・於保俊¹・中村俊夫¹・吉田英一¹・齊藤毅²・末田和弘¹・桂田祐介¹・青木義幸¹
- 1P38 (27-P01)
Assessment of Base Metal Pollution in Water of Nomi River, Tokyo, Japan (慶大) Shaila Sharmin・鹿園直建
- 1P39 (27-P02)

淀川水系における富栄養化関連物質の広域分布と季節変動 (1 近大・2 大阪市大・3 大阪自然史博物館) 宇根山綾香¹・中口讓¹・山崎恵美子¹・滝川真矢¹・松本郷平¹・中尾匡伸¹・中川裕美¹・益田晴恵²・中条武司³

1P40 (27-P03)

東京都旧中川流域河川堆積物中の六価クロム等の重金属汚染に関する地球化学的研究 (慶大) 吉岡章・鹿園直建

1P41 (27-P04)

淀川水系における生態系に及ぼす化学成分の影響 (1 近大・2 大阪市大・3 大阪自然史博物館) 滝川真矢¹・益田晴恵²・山崎恵美子¹・宇根山綾香¹・松本郷平¹・中尾匡伸¹・中川裕美¹・中口讓¹・中条武司³

1P42 (27-P05)

硫酸還元と栄養塩から見た都市河川の環境評価 (東大) 原直樹・小豆川勝見・松尾基之

1P43 (28-P01)

東濃ウラン鉱床周辺花崗岩中炭酸塩鉱物中の希土類元素とウランに関する地球化学的研究 (慶大) 曾我匠・鹿園直建

1P44 (28-P02)

Shewanella putrefaciens による U(VI) の還元 - 有機酸錯体の還元 (原研) 鈴木義規・南川卓也・香西直文・大貫敏彦

1P45 (103-P01)

カルシウム同位体分析法の開発と生体試料への応用 (1 東工大・2 順天堂大) 山崎絵里香¹・菅 彰信¹・田野島三奈¹・田中佑樹¹・篠原厚子²・千葉百子²・平田岳史¹

1P46 (103-P02)

放射光 X 線分析および放射性同位体分析を用いたモエジマシダ前葉体における As と P の in vivo 解析 (1 広大・2 東大・3 (株) フジタ・4 東京理大) 柏原輝彦¹・田野井慶太郎²・中西友子²・北島信行³・保倉明子⁴・中井泉⁴

1P47 (103-P03)

Sr 同位体トレーサーによる漆の産地決定の可能性(II) (1 東大・2 明大) 中井俊一¹・吉田邦夫¹・宮崎ゆみ子¹・宮腰哲雄²・神谷嘉美²・本多貴之²

9月18日 ポスター会場

2P01 (01-P01)

Murchison 隕石中の炭酸塩の同位体組成と組織との関係 (九大) 筒井新・奈良岡浩

2P02 (06-P01)

フォルステライト多結晶体における Pt 固溶度と拡散: コア-マントル相互作用の素過程 (1 東大・2 物材機構・3 宇部マテリアルズ(株)) 賞雅朝子¹・平賀岳彦¹・中井俊一¹・小泉早苗¹・大橋直樹²・佐野聡³

2P03 (08-P01)

諏訪之瀬島火山の火山噴煙中二酸化硫黄の可視化測定 (東大) 森俊哉

2P04 (08-P02)

Sampling and Analysis of Dissolved Noble Gases in the Porewater of Marine Sediments in Northeastern Okinawa Trough, Japan (1 東大・2 台湾大) 藍徳芳¹・佐野有司¹・高畑直人¹・清田馨¹・堤真¹・金子秋男¹・楊燦堯²

2P05 (08-P03)

木曾御嶽山の周辺の湧水の Li-Sr 同位体組成 ~ 地殻変動を伴う地下流体の起源を探る試み ~ (1 JAMSTEC・2 高知大・3 東大) 西尾嘉朗¹・岡村慶²・佐野有司³

2P06 (08-P04)

蔵王火山における酸性熱水変質による岩石中の元素挙動 (1 東北大・2 秋田大) 竹谷裕¹・大場司²・藤巻宏和¹

2P07 (09-P01)

LA-ICP-MS を用いたアルゼンチン南パタゴニアの Cerro Pampa アダカイトに含まれる地殻ジルコン結晶の U-Pb スポット年代と、それから構築される地殻年代発達史 (1 リオデジャネイロ州立大・2 東大・3 パタゴニア国立大・4 プエノスアイレス大・5 神奈川県立生命の星・地球館・6 筑波大) 元木昭寿¹・折橋裕二²・ハラミゲール³・ラモスピクター⁴・平田大二⁵・安間了⁶

2P08 (102-P01)

極東ロシア西部シホテアリンと内陸部の新生代火山活動史 (1 JAMSTEC・2 ロシア科学アカデミー) 佐藤佳子¹・平原由香¹・巽好幸¹・Prikhodko Vladimir²

2P09 (11-P01)

東太平洋赤道湧昇域における堆積物中の生物起源物質の分布: カルサイト, オパール, パライト (東海大) 小西由紀・中村智己・加藤義久・南秀樹

2P10 (11-P02)

元素・鉱物組成からみた中国長江下流域のレス・古土壌層 (1 同志社大・2 兵庫教育大・3 南京博物院) 灘本信純¹・横尾頼子¹・成瀬敏郎²・林田明¹・松藤和人¹・房迎三³

2P11 (11-P03)

日本列島南西部に産出する陸成炭酸塩の年縞を利用した人為起源鉛の時間変遷推定の試み (1 (株) マリン・ワーク・ジャパン・2 JAMSTEC) 松岡淳¹・谷水雅治²

2P12 (11-P04)

フィリピン南西部の石筍記録から読み取る完新世のモンスーン変動 (1 広大・2 国立台湾大・3 九大) 堀真子¹・沈川洲²・狩野彰宏³

2P13 (11-P05)

名古屋クロマツ年輪セルロースの炭素同位体比変動を規定する環境要素 (名大) 林和樹

2P14 (12-P01)

Heavy metals in Nakaumi Lagoon sediments, Japan: evaluation of present environment (1 埼玉大・2 筑波大) BibiMst. Hawa¹・淺枝隆¹・藤野毅¹・Ahmed Faruque²・福島武彦²・丸岡照幸²

2P15 (12-P02)

砕屑性クロムスピネルの化学組成を用いた後背地研究の有用性とその適応例: 台湾の新第三系メランジュから産出した砕屑性クロムスピネルの供給源 (1 筑波大・2 国立台湾大・3 国立新竹教育大・4 国立花蓮教育大) 島村雄彦¹・久田健一郎¹・Louis S. Teng²・Neng Ti Yu³・Jiun Yee Yen⁴・Yi Ling Tsai

2P16 (12-P03)

沖縄県南北両大東島に分布するドロマイト岩の微量成分含量 (群馬大) 相澤省一・大谷沙矢香・永井昭弘

2P17 (12-P04)

高濃度 Mg, Cr 地点の発見と Pb 人為汚染の可能性 荒川上流薄川流域の地球化学図 (1 立正大・2 東大) 新藤智子¹・福岡孝昭¹・青木かおり¹・石本光憲²

2P18 (12-P05)

原生代末期 - 古生代前期における深海の酸化還元条件: ⁵⁷Fe メスバウアー分光法によるチャート中の鉄の状態分析 (東大) 佐藤友彦・磯崎行雄・松尾基之

2P19 (12-P06)

南中国・四川省朝天におけるペルム紀中-後期(G-L)境界の層序 (¹東大・²中国地質科学院) 齋藤誠史¹・磯崎行雄¹・姚建新²・紀戦勝²

2P20 (12-P07)

カオリン粘土中におけるダイオキシン天然生成の検証:安定炭素同位体組成を指標として (¹産総研・²ニューヨーク州立大・³オレゴン大・⁴キール大・⁵産総研) 堀井勇一¹・クランサチャラムカナン²・バンバベルバート³・ペトリックゲート⁴・山下信義⁵

2P21 (12-P08)

木曾三川河口域堆積物の地球化学的特徴 (名大) 平松裕亮・杉谷健一郎・山本鋼志・奥村文章

2P22 (28-P03)

土岐花崗岩の変質作用に伴う主要及び微量元素の分配と挙動 (武蔵工大) 本多照幸・坪井麻里子・永田寛

2P23 (13-P01)

Sr, Nd 同位体を用いた北極圏の陸域古環境復元の試み (¹名大・²JAMSTEC・³(株)マリンワークジャパン) 浅原良浩¹・竹内ふみ¹・長島佳菜²・原田尚美²・小栗一将²・多田井修³・山本鋼志¹

2P24 (13-P02)

熱水性石英中の流体包有物分析による古海水組成の復元 (¹東工大・²JAMSTEC・³東大) 齋藤拓也¹・渋谷岳造²・西澤学¹・北島宏輝³・昆慶明¹・澤木佑介¹・小宮剛¹・平田岳史¹・丸山茂徳¹

2P25 (13-P03)

鉛同位体比を用いた土壤中鉛の由来解析 (産総研) 原淳子・駒井武・川辺能成

2P26 (13-P04)

太古代の浅海炭酸塩岩に含まれる黄鉄鉱の局所鉄同位体組成 (東工大) 山本洋輝・平田岳史・西澤学・上野雄一郎・小宮剛・丸山茂徳

2P27 (13-P05)

有孔虫炭酸塩殻中の Nd 同位体比と希土類元素組成 (名大) 堀川恵司・浅原良浩・山本鋼志

2P28 (13-P06)

陸棚域堆積物中のブラックカーボンの起源識別 (¹東大・²環境研) 熊田英峰¹・内田昌男²・小崎沙織¹・藤原祺多夫¹・青木元秀¹

2P29 (15-P01)

北西太平洋における粒子態プルトニウムの季節変動 (放医研) 鄭建・山田政俊

2P30 (15-P02)

河口・沿岸域における重金属元素と希土類元素の濃度分布について (放医研) 高田兵衛・青野辰雄・田上恵子・内田滋夫

2P31 (15-P03)

日本全国沿岸海域の地球化学図と元素分布の特徴について (産総研) 今井登・寺島滋・御子柴真澄・岡井貴司・太田充恒・立花好子・池原研・片山肇・野田篤

2P32 (104-P02)

現場型超大容量海水濾過装置を用いた青森県六ヶ所村沖における溶存態 Cs-137 の分布について (放医研) 中西貴宏・青野辰雄・日下部正志

2P33 (16-P01)

アイソトプマー比を用いた東部北太平洋における N₂O の動態解析 (¹東工大・²酪農学園大) 宮袋智弘¹・豊田栄¹・吉田磨²・吉田尚弘¹

2P34 (16-P02)

エアロゾル粒子中のカルシウム化学種の粒径依存性 (¹広大・²産総研・³中国科学院) 三好拓朗¹・高橋嘉夫¹・東将之¹・金井豊²・張仁健³・清水洋¹

2P35 (16-P03)

北太平洋 WOCE-P01・P03 におけるメタンの挙動 (¹酪農学園大・²太平洋セメント・³東工大・⁴JAMSTEC) 今井翔¹・吉田磨¹・河野恒平²・豊田栄³・藤井彩子³・山田桂大³・渡邊修一⁴・吉田尚弘³

2P36 (16-P04)

落石岬における春 - 夏季の大気中酸素/窒素比の高まりの起源 (¹環境研・²(財)地球・人間環境フォーラム・³JAMSTEC) 山岸洋明¹・遠嶋康徳¹・向井人史¹・島野富士雄²・曾継業¹・笹岡晃征³

2P37 (17-P01)

2007、2008 年東大阪市で観測された黄砂粒子の個別粒子分析 (近大) 山口和宏・中口讓

2P38 (17-P02)

大気中 He 同位体比の緯度分布 (東大) 古川由紀子・高畑直人・佐野有司

2P39 (17-P03)

大気中酸素濃度の観測に基づく炭素収支の推定 (環境研) 遠嶋康徳・向井人史・山岸洋明・野尻幸宏・町田敏暢

2P40 (17-P04)

定期貨物商船を用いた西武太平洋洋上大気中一酸化炭素の連続観測 (環境研) 奈良英樹・野尻幸宏・谷本浩志・向井人史・町田敏暢・遠嶋康徳

2P41 (17-P05)

つくばにおいて観測されたダスト及び水溶性化学成分の沈着量の季節変動 (気象研究所) 猪股弥生

2P42 (19-P01)

鹿児島県シラス台地の水環境 (鹿児島大) 児玉将大・山本温彦

2P43 (19-P02)

Oxygen isotope fractionation of O₂ during reduction by aqueous sulfide. (¹北大・²ネバダ大) 大場康弘¹・Simon R. POULSON²

2P44 (19-P03)

亜熱帯島嶼西表島における河川水の水質形成 (¹九大・²CRC 食品環境衛生研究所・³九電産業・⁴琉球大・⁵鹿児島大・⁶総合地球環境学研究所) 江里口和隆¹・高嶋温子²・栗崎弘輔¹・能登征美³・廣瀬孝⁴・井倉洋二⁵・高相徳志郎⁶・吉村和久¹

2P45 (19-P04)

湖沼水の土壌浸透に伴う水質組成の変化とその要因 - 茨城県菅生沼 - (東京理大) 大城恵理・村松容一

2P46 (19-P05)

硝酸性窒素汚染が進む地下水の地球化学特性 - 下総台地北西部 - (東京理大) 村松容一・荒井寛未・中山ふみ乃・近藤史也

2P47 (19-P06)

水分析における面的リアルタイム観測の意義と展望 (東大) 杉本雅明・齊藤友比古

2P48 (19-P07)

沖縄県石垣島・西表島の河川水質に地質が及ぼす影響 (¹東大・²産総研) 牛江裕行¹・鈴木淳²・川幡穂高³

2P49 (19-P08)

溶存有機物および無機元素による十勝平野褐色地下水の分類 (電中研) 伊藤由紀・宮川公雄

2P50 (22-P01)

NanoSIMS によるサメの歯のストロンチウム同位体比分析 (東大) 豊島考作・高畑直人・白井厚太郎・北島宏輝・天川裕史・佐野有司

2P51 (26-P01)

炭素年代測定とステロール分析を用いた土器による古食性研究 (¹国立歴史民俗博物館・²ICU・³お茶の水女子大・⁴(株)パレオ・ラボ) 宮田佳樹¹・堀内晶子²・近藤恵³・遠部慎¹・パレオ・ラボ AMS 年代測定グループ⁴・西本豊広¹